

マクロビオティックの雑誌

# 新しき世界へ

無双原理と玄米正食で健康・幸福・自由と平和を創る

6-1981

No.535

イコール事件(3)  
吉見クリム

松枯れは砂漠化の前兆  
福岡正信

「意志」教育50年(抄)  
桜沢如一



INTERNATIONAL  
日本CI協会  
MACROBIOTIC CENTER

昭和56年6月1日現在

# マクロビオティック図書・テープ

\*印は価格改定です ■10月1日から送料が値上げになりました。

■2冊以上の場合の送料は、定価合計が  
三千円未満 三百円  
六千円未満 四百円  
一万円未満 五百円  
一万円以上 六百円

(入門向き) 桜沢如一著

\*魔法のメカネ 無双原理の物の考え方 一、〇〇〇円 千二百

\*永遠の少年(上) 少年よ、大志をいだけ! 三、五〇〇円 千二百

食養生読本 食養生で開く自由の人生 一、二〇〇円 千二百

\*生命現象と環境 やさしいエコロジー 四、五〇〇円 千二百

\*新食療法 正食身心改造法 一、五〇〇円 千二百

東洋医学の哲学 軽装普及版 二、〇〇〇円 千二百

(資料) 米上院栄養委 二、〇〇〇円 千二百

米国の食事改善目標 二、〇〇〇円 千二百

桜沢里真著 二、〇〇〇円 千二百

マクロビオティック料理 家庭料理全書三、五〇〇円 千三百

\*食養料理法(旧版) 一、五〇〇円 千二百

(研究向き) 千二百

桜沢如一著 千二百

\*無双原理・易 宇宙法則、実用弁証法 一、一〇〇円 千二百

宇宙の秩序 最重要PU書 一、〇〇〇円 千二百

病気を治す術・病人を治す法 人生論 五、〇〇〇円 千二百

桜沢如一アルバム 五、〇〇〇円 千二百

クララ・シューマン 人生論 七、五〇〇円 千二百

人間—この未知なるもの(カレル) 二、〇〇〇円 千二百

自然医学 三、五〇〇円 千二百

## 原典コピー版

健康戦線の第一線に立ちて 一、三〇〇円 千二百

一つの報告 一、〇〇〇円 千二百

自然科学の最後 三、六〇〇円 千二百

中央アフリカ横断記 一、〇〇〇円 千二百

コンパ文庫4 三、五〇〇円 千二百

コンパ文庫5 一、七〇〇円 千二百

コンパ文庫6 三、八〇〇円 千二百

『新しき世界へ』 三〇一三九号 一、〇〇〇円 千二百

『世界恒久平和案・意志』教育五十年の実験報告 一、〇〇〇円 千二百

PU歌集 一、〇〇〇円 千二百

千二百

## 好評 カセットテープ

### 『GO、母を語る』

90分×1本

二、六〇〇円 千二百

『ひとつも不平を言わぬ母だった』

## 桜沢如一 カセットテープ

ニューヨーク講演 一巻一五巻 60分×10本 一五、〇〇〇円

ニューヨーク講演 二巻一六巻 60分×11本 一六、五〇〇円

母を語る 90分×1本 二、六〇〇円 千二百

## 大森英桜 カセットテープ(二月一日より価格変更)

主食の徹底研究 四時間で三本 四、五〇〇円 千二百

生命と食物の歴史 二時間で二本 二、六〇〇円 千二百

食物の陰陽 二時間で二本 二、六〇〇円 千二百

久司御知夫 カセットテープ 二時間で二本 二、六〇〇円 千二百

世界平和と健康 90分×3本 四、五〇〇円 千二百

●日本C.I.協会発行の図書・テープは、一般書店では扱っていません。本部へ直接申し込むか、全国日本C.I.協会友の店の自然食品店や各センターでお願いします。コピー版、テープをのぞく主な本は、紀伊国屋書店で扱っています。

●本部への注文は、①現金書留、または②振替東京〇一九四三日本C.I.協会へ、代金と送料と注文品を明示して送金してください。①の場合は2週間、②の場合は、3週間みてください。

# 日本C.I.協会

〒151 東京都渋谷区大山町一―一五  
電話 (〇三) 四六九・七六三二代



# 桜沢如一先生 記念祭開く



▶横野晋作氏



▶松浦 実氏



▶中村二郎氏



4月24日は、日本C.I.協会の創立者、桜沢如一先生の没後15周年の記念日で、25日(土)、会長、副会長はじめ、多数の方々の参加のもとに、記念祭が行なわれました。

神式による祭典ののち、お祝いの食事が並び、歓談と挨拶に移りました。

遠く四国松山から来られた菅本フジ子さん(愛媛純正食品センター)が、桜沢先生に呼ばれてヨーロッパへ行き、マクロビオティックの活動のお手伝いをしていた時、先生に厳しく叱られた話を紹介して、GO式教育法の真髄を披露されました。

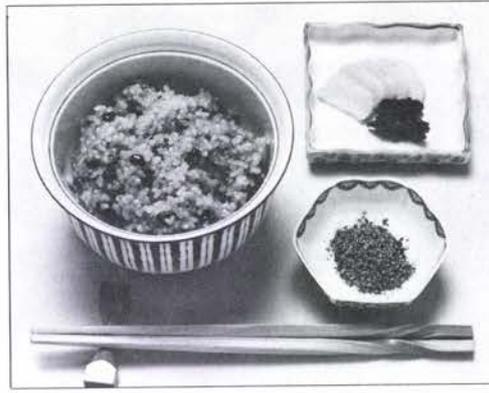
牛尾盛保先生の紹介で、日本綜合医学会の松浦実氏、横野晋作氏らも挨拶されました。松浦氏は、富山市在住の医師、横野氏は新潟県出身で、今、郷

土に、大健康村をつくるため奮闘中。横野氏は、戦前、上司の命令で社団法人食養会に研修に入所し、桜沢先生に指導を受け、働いた方。他の研究生より一時間早く起き、館内を磨いた話、某議員が入院してきて、食養の食事と手当て、見事、歩けるようになって退所された話などを語られました。

ベルギーC.I.顧問の安原久雄氏(ローラン)、ドイツ・オーサワセンターの中村二郎氏(エブ)、厚木の日本正食品研究所の佐々井譲氏(マック)など、戦後のGO直弟子の方々も挨拶に立たれ、閉会後は、中村氏を囲んで、同氏の「陰陽有機理論」の紹介と論議がありました。また、GO先生の勧めで新宿西口に玄米すし屋をやった朝倉秀登氏のお話もありました。



より水の量を少なくして炊きます。圧力をかける時間も短くなるので、小豆は餅玄米にまぜる前に、ちょっと熱を加えて、少しやわらかくしておきます。



## フキのぶくやぶくれ

### ●材料

フキ(1/2束)、豆腐(1丁)、油揚げ(4枚)、人参(1/2本)、さやいんげん(10本)、ゴマバター(大さじ1)、塩、醤油、ゴマ油

### ●作り方

①フキは、塩ひとつまみを入れた熱湯で色よくゆで、皮をむく。5センチくらいの長さになり、さらにたてに細切りにする。

②人参は細切りにして、塩少々をふりかけて、空炒りする。さやいんげんは塩湯でゆで、斜めうす切りにする。

③油揚げは三方に包丁目を入れて開き、油抜きする。出し汁カップ1に醤油大さじ1/2を加えて煮立て、油揚げを入れて煮付ける。

④豆腐は水切りして、手でつかんでつぶす。すり鉢でよくすり、ゴマバターを加えてまぜる。醤油大さじ1、塩少



少で味をつけ、①を加えて和える。

④油揚げをひろげ、4つ切りにする。

真中に③をおいて、ふくさのように四角に包む。

注 油揚げは、裏が表面になるように用いるとおいしそうに出来上がりです。

## ベニエ・ド・マイス

### ●材料

玉ねぎ(1個)、マイス(1トウモロコシ、1本)、人参(1/2本)、地粉(カップ2)、塩(小さじ1)、さやいんげん(10本、大根おろし(カップ1))

### ●作り方

①玉ねぎは、あらみじん切りにする。マイスはつぶをはずす。人参は1センチ角の長い拍子木切りにし、さらにうすい小口切りにする。さやいんげんは色よくゆで、5ミリくらいに切る。

②地粉に水カップ1と塩少々を入れて静かにまぜ、①を加える。

③大さじ2をさくつとすくい、熱したゴマ油にさつと入れてからりと揚げ

注 表面は平らにしないで、すこしデコボコしている方がからりとよく揚がる。



④3つくらいを一人前として器に盛り付け、大根おろしを添える。

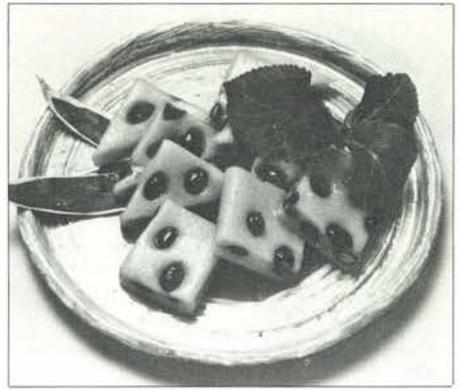
## 水無月

### ●材料

黒豆(カップ1/2)、玄米粉(250グラム)、餅玄米粉(250グラム)、塩(少々)

### ●作り方

①黒豆は洗って、3倍の水を入れてやわらかく煮る。出来上り際に塩小さじ1/2を入れて、汁がなくなるまで煮付ける。



② 玄米粉と餅玄米粉をまぜ合せ、塩小さじ½を加えてませる。熱湯でこねて、ふかし、すりこぎでかるくつく。

③ ②を1センチ厚みにのし、黒豆を平らに並べて包み、おして平らにする。

表面にも黒豆をとばしておき、5センチ角に切る。適宜にさらに3角形に切って、4角形と3角形のものを取合せで盛る。

注 京都では、3角形の白いしんこの上に甘い小豆を散らした、しこしこしたものを水無月といいます。

旧暦の六月は盛夏の候で、昔、六月一日に氷室で貯えた冬の氷を宮中に奉納するならわしがありました。平民は

メニュー10



氷にあこがれ、氷の形を模して作ったお菓子の水無月だと言われています。これは、故桜沢の大好きなものでしたので、毎年六月になったらかならず作るようにしています。

メニュー10  
 玄米焼きむすび  
 手打ちうどん  
 タケノコとあらめ  
 田舎まんじゅう

## 玄米焼きむすび

●材料

玄米御飯（カップ11）、塩（少々）、醤油（少々）

●作り方

玄米御飯を15個に3角形にむすぶ。塩少々をつけて、あみの上で両面をこんがり焼く。醤油をうすくぬって、もう一度焼く。

注 こんがり焼けば、夏でも持ちがよいので、ピクニックや旅行によいで

6月の食養料理

しょう。中に梅干を入れれば、いっそう長持ちします。

## 手打ちうどん

### ●材料

地粉（500グラム、長ねぎ（2本、南瓜（300グラム、油揚げ（3枚、みつ葉少々、出し昆布（10センチを2枚、ゴマ油、塩、醤油

### ●作り方

①地粉は塩小さじ1を加えて混ぜ、水を少しずつ加えながら、耳たぶくらい



のかたさにこねる。ぬれ布巾をかぶせて、30分くらいねかせろ。

②長ねぎは1センチの小口切りにする。南瓜は種をとって、小さく切る。油揚げは小さな三角形に切って、うす味をつける。

③鍋にゴマ油大さじ2を熱し、長ねぎを入れて炒め、南瓜を加えてさらに炒める。水カップ7を入れ、出し昆布を入れて煮込み、塩と醤油で吸い物より少々こいめに味をつける。

④①を8ミリくらいの厚さにのし、折りたたんで小口から切る。

⑤④をバラりと③の鍋の中に入れて煮込む。

⑥器に盛り、みつ葉を細かくきざんだものを上にふり、あればゆずの皮のみじん切りか木の芽をうかせる。ねぎやみつ葉のみじん切りを薬味として添える。

## タケノコとあらめ

### ●材料

タケノコ（150グラム、あらめ（30グラム、ゴマ油（少々、醤油

### ●作り方



①タケノコは皮に少々包丁目を入れ、皮のまま、水にぬかをひとつかみ入れた中で、2時間以上ゆで、冷めるまでそのまま置く。皮をむいて、適宜に切りそろえ、先の方は大切りにする。あらめはさっと洗っておく。

②ゴマ油小さじ1でタケノコを炒め、あらめを加え、材料がかぶる程度に出し汁を入れ、中火でコトコトと煮る。

タケノコがやわらかくなったら、醤油大さじ3を加え、味がしみこむまで煮上げ、汁を煮付ける。

注 タケノコはかならず海草といっしょに煮ることが大切です。あらめがない時は、煮くずれのしないわかめでもよいでしょう。昆布でもいいのですが、煮くずれて見栄えよくはできません。海草の陽性とタケノコの陰性がよく調和してよい味が出ます。しかし、病人にはぜったいに食べさせてはいけません。特に先のやわらかい部分は極陰性ですから注意せねばなりません。肺の悪い人に食べさせると血をはいてしまつといわれるくらい陰性なものです。タケノコはとてもおいしいものですが、普茶料理にはかならずといってよいほど用いられていますが、病人には禁物です。しゅんのものとして、参考までに料理法を書きましたが、よく研究して召し上るようになってください。

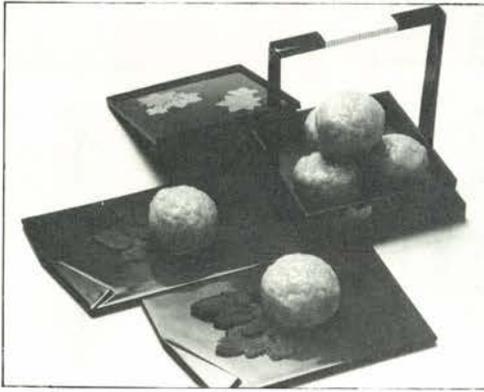
## 田舎まんじゅう

### ●材料

地粉（400グラム、大和芋（300グラム、小豆（カップ2、栗（カップ2、塩

### ●作り方

①大和芋は細かくおろし、すり鉢でよくする。塩小さじ1を加え、地粉をふるいながら少しずつ入れ、耳たぶより少しやわらかめに仕上げる。（大和芋が足りなくてかたすぎる時は、水を少



し加える。)

② 粟はひたひたの水でやわらかく煮て、塩少々を入れて煮つけておく。(甘栗を用いてもよい。)

③ 小豆は3倍の水を入れ、弱火でゆっくりに煮る。上に水がなくなってきたら、材料がかぶるくらいに水を静かにはしから入れる。(注 これをびっくり水といいます)が、バツと勢いよく入れて小豆がびっくりしておどらないように、静かに入れてください。これを3、4回くり返すうちに、上までやわらかく煮えてくる。材料が半分くらいに煮つまった時、塩小さじ $\frac{1}{2}$ を加えて、こ

で初めてかきまぜる。(注 それまではぜったいにかきまぜません)②を入れてよくまぜ合せて、火からおろして冷ます。3センチ大にまるめておく。

④ ①を3センチ大にまるめて平らにし、あんをくるんで形をととのえる。

⑤ 蒸気の出ている蒸し器にぬれ布巾をしき、④を適当な間隔をおいて並べ、15〜20分蒸す。

※ 漬けものは、たくわんをうすく切り、花の形に盛付け、フキの葉の煮付けを添えました。

六月は梅雨の季節ですから、水分のとり方に気をつけてください。塩気がきつすぎると喉がかわいて、水気ものをとりすぎてしまい、逆に体がゆるんでしまいますから、塩気はすこしひかえめにした方がよいでしょう。

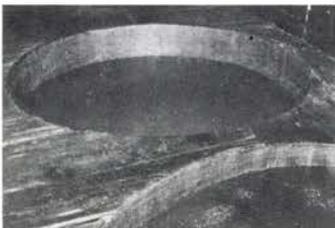
また、梅干しを漬ける時期でもありません。暑い季節には、梅干しを1個入れて御飯を炊くと長持ちして、冷や御飯もおいしく頂けます。また、夏まけ防止に欠かすことができませぬ。手作りのものはど安心して頂けるものはありませんから、ぜひ、ご家庭でお作りください。

6月の食養料理

## 天然醤油造りに、意欲ある人材求む!



◀むしろこうじ室



◀熟成中のもろみ

《かめびし》は、創業以来 230年間、醤油の古里・瀬戸内海沿岸で、伝統的な古式醸造法を守り、純天然醤油一筋にがんばっています。昔ながらの「むしろ麹法」と、木樽の中で2年間、自然の気候のままにじっくり行う「もろみ熟成」が、天然醤油のみがもつ、あのすばらしい香り、味、色を生み出します。

当社は、社長・岡田国義(40歳)以下、製造従事者13名、営業従事者4名と小さな企業ですが、より自然で、より純粋な醤油造りに燃えています。タワー式天然海塩を使った初の醤油醸造試験も、当社でやらせていただきました。また、近年、マクロビオティック運動が盛んな欧米諸国にも、わずかながら輸出しております。

天然醤油造りに興味がある方、ぜひ一度、お便りください。あわせて今までの経歴、自然食に対する考え方なども書いてくだされば幸いです。お電話でも結構です。

合資会社 かめびし

香川県大川郡引田町引田2174 ☎087933-2555

# イコール事件 第3報

## 吉見クリム

### 神聖不可侵の集団

三月中旬に、古いマクロビオティックの有志達が、パリの一堂に集まり、イコール氏によるマクロビオティック告発問題を協議した。事件に関するボー大な資料(新聞、雑誌、ビデオテープ、カセット、イコール氏への反論文書、手紙等)に主だった人々が目を通した。すると、その中の一人が感嘆して叫んだ。

「ラ・マクロビオティック・エ・タン・サクレ・モルソー!!」(マクロビオティックは、神聖犯すべからざる——デッカイ、巨大——集団だ!!)

フランスは、GOが一九三〇年代からマクロビオティックを紹介し始め、一九五五年頃からは、他のヨーロッパ各地と同様、その普及に全力投球したところである。現在、世界で一番華々しくみえるアメリカの運動は、やっと一九六〇年代から始まったものだ。だから、歴史的にフランスは、日本国外で一番先輩格である。

GO自らが、初めてアメリカへ渡る前に、フラン

スのマクロビオティック運動は、出版と組織と食品生産と商業網を一通り作り終えていた。当時の機関誌『Y I N・Y A N G』は、マクロビオティック誌として世界一である、とGO自らが誇っていたほどである。ヨーロッパ国際センターを名乗るパリのCI本部自体が、GOの陣頭指揮で直接統率されていた。

残念ながら、GOが亡くなると同時に、そのCIセンターが、大いに内輪もめを始め、裏切りが発生し、契約問題でセンターの家屋を失ったり、委員会が二つに分裂したりして、統一体が失われた。一時、「七ヶ連隊」といわれるほど分裂した。けれども、その頃から、公認文化協会のセンターが、フランスに二十五とか三十とかいわれるほど、方々に出現した。が、いかんせん、統一がない以上、運動としてのダイナミックスは、外見上感ぜられなくなった。陰性になってしまったわけである。

ところが、今度のイコール事件で、我々は、マクロビオティックが想像以上に、広く深く社会に知られ、浸透しているのを、いやでも認めさせられてし

まった。不死鳥のヨミガエリをまのあたりに見た思いである。

マスメディアによるイコール氏の波状攻撃を浴びた時に、マクロビオティックは、一般の人々が、「それは一体何だ?」と当惑して自問する風もなく、あっさりマスコミに乗り切ってしまったのである。

この事実は注目しはしないか。マクロビオティックが、言葉として、或いは概念としてすら、フランスの市民権を取ってしまった、といえないか。その市民権に「特別」の字を、イコール氏が加えてくれた。

さらに驚かされたのは、数あるセクトの多くが、(原則的に)マクロビオティックを採用しているという事実である。一万人の信者で独立特殊社会を作っているアレ・クリシュナ教(ごく最近、街頭進出を禁止された)や、シアントロジー教会や、その他名前を伏せて活動するいろんなセクトが、大まかながらマクロビオティック食の原則に従っていることが、テレビやラジオや新聞のアンケートで明らかにされている。厳密には、精白しない穀類中心のマクロビオティック風業食主義といった程度のものである。

当地のテレビに出た、本山、日本の禅堂の実況ルポルタージュによると、出される食事は明らかに白米であり、市販物らしい味噌で作った味噌汁であり、塩も恐らくイオン塩のようで、マクロビオティック食が供されているとは言いがたい。加うるに記者の栄養学的質問に対する応答も、単なる科学否定か禅問答的逃げ口上にすぎないように思える。

その点に関する限り、フランスの禪で出される食

事は、玄米、古式味噌汁、自然農法物の野菜の煮付け、大きなチーズ一切れ、マクワケといった風物で、少し生臭いが、一応マクロビオティックが採用されていることは歴然としている。その実際の調理については、禅側からマクロビオティック側へ相談が持ち込まれたことが多くあり、主な食品は今でもマクロビオティック系から出ている。しかも、禅のフランス人の過半数は、マクロビオティックの縁で禅に入った、と証言している。また、マクロビオティックの人々の中にも禅の経験者は多い。

「禅とマクロビオティックは、全然関係がない」と、カンジンな時に宣言してしまい、イコール氏の攻撃をはずそうとした。そして、氏に、さんざん毒づかれ、皮肉られた。いわく、「ゼンがゼン・マクロビオティックから分派した。禅教会のお家騒動らしい」

禅としたことが、これは客観的視野を欠いた言動ではなかったか。

あまつさえ、同禅センターが「マクロビオティックは危険食である」と「ジュルナル・デュ・ディマンシュ」紙で宣言広告を出すに至っては、その見解の理解に苦しめられるものである。

## マクロビオティック巨大文書

イコール氏の告発に対する反論（マクロビオティック擁護論）も、ゴンクール賞級の扱いは受けないにしても、思いがけないところから新聞やラジオに出た。テレビでも親マクロビオティックの発言が多少ながら、もちろん出た。スイスでは、テレビで反

論インタビュもあった。シアントロジ協会は、マクロビオティック本部へ、イコール氏に対する共同闘争を申し入れてきた。パリのイコール氏による公開討論会では、マクロビオティックの人々が多数参加して議論した。トゥールーズ市での講演会では、参加者数百名の過半数がマクロビオティック系だった、という。

トゥールーズといえば、二十数年前にGO御夫妻や川口トシ女史が講習会をひらいて以来の古い系統の人々の町である。今でも、この町がフランス中で一番マクロビオティックの普及した町だといわれる。

そこからさらにビレネー寄りに入ると、サンゴダンスという山間の小さな町があつて、常設正食キャンプ場があるが、そこは、近郊、ルールドの奇蹟で治らなかつた人々がやってきて、正食を勉強しているという。何のインネンか知らないが、イコール氏の自殺した息子、ヴァンサン君も、一時、二週間ほど、ここにいたのだという。

私は、全ヨーロッパについて言いたいのであるが、最近、アメリカ系の新マクロビオティックが、アメリカの大胆な宣伝とセミナルとで、ヨーロッパの旧マクロビオティック系を圧倒し、追い越したような印象を与えているようであり、イコール氏もそのような見解に立っているのであるが、その信ピョウ性となると、証拠が不十分である。

それどころが、実態は、ヨーロッパ旧系のマクロビオティックの地盤が、新しい若いアメリカ系を擁し、吸収した、といった方が順当なようである。第一、新系のリーダーと称される人々は、ほとんどが、もともと旧系の縁か、または直接の生徒達であ

るではないか。

ベルギーに、マルク・ヴァン・コウエンベルグという三十七、八歳の医学博士がいる。十二、三年前から、ベルギーやフランスでマクロビオティックの勉強を始めた。ちょうど十年前から、GO著作品のコレクションを始め、昨年、その第一回全集を、コピー版で、公開した。大部分は、フランス語であるが、英語版も含んでいる。GO著作の中で、正式に商業出版されていないものばかりで、機関誌に出たものや、一般雑誌に投稿したものや、講演集や翻訳物である。

それが、なんと四千ページ。厚さにして二十センチ余り。限定版刊行早々、百冊がたちまち売り切れてから、購入希望者の要求が烈しくなっているので、今、第二版を準備中である。五百ページを追加するという。おおい整理すると五千ページ近くになるが、中にはGOの破格の通信や爆笑ものとの問答が出てきたり、一九三〇年代の寄稿文など、今雑誌社へ売り込んでも立派に通りそうな論文もある。

日本では、高祖君が、この分野の権威であり、アメリカには、ロナルド・コーチ君がいるが、ヨーロッパは、ヴァン・コウエンベルグ君が第一人者である。将来、GO著作品ミュージアムを創設するのが彼の夢である。

彼の編集した、この文書は、ヨーロッパのマクロビオティックの歴史を率直に語るものであり、五十年という時間の割には、巨大な文書といえるだろう。若い人々が、この文書を読んで、はじめてマクロビオティックの実体につれた感懐を味わい、GOを再認識している。

## イコール氏の攻撃は続く

しかし、今、そのマクロビオティックが、フランスで大危機に直面しているのではないか？

もちろんである。ゴンクール賞級の太攻撃を真正面から喰って、動転している。

スイスとベルギーからと、フランスでも地方からは、イコール氏に対して相当烈しい反撃の新聞投書や文書がいろいろ出たのであるが、足元のパリは、ヒソとして反論のカケラも出せないでいる。今日現在でも、パリのマクロビオティック界の空気が依然として重い。南仏でマキ・ゲリラ軍が活動しているのに、いっこうに武器の取れない、ナチス軍占領下のパリの雰囲気。「自分静観」というのが、当事者と弁護士の一貫した姿勢である。

『ゼン・マクロビオティック』の本を発禁にすべきである、という声が、ラジオで聴かれた。「医師法違反」という言葉が各機会にくりかえし盛大に叫ばれた。

ああ、イコール氏の吐き出す「シャルタンノ」「ベテン師」という言葉のどぎつさ!! マクロビオティックの集会对するセクトの好奇心——どんな神様が出るのか? グルーは、どんな容姿を見せるのか?——も大いに高められた。おりからの日仏経済戦争の時機に便乗して日本製正食品に対する非難世論を作ろうとする意図さえ感じられた。パンフレットによるマクロビオティック非難を、青年や学生に対して念入りにやるプロも示された。

世論の国のことだから、マクロビオティック非難が、どこまで飛び火するか全く予断を許さない。

般へのマクロビオティック宣布は、これから言葉によほど細心の注意をはらわなければならなくなるだろう。この事件が、重苦しい長期戦になることは覚悟しなければならぬ。ラジオ討論に参加したマクロビオティック側の人々は、無残に、イコール氏のドスのきいた言葉で叩きのめされた。

このヒステリックな嵐の後に、いったい何が来るだろうか?

陰あれば陽、雨降って地固まるのタトエで、マクロビオティックの黄金時代がフランスに来るだろうか? まあ、ここまで有名になってしまったのだから、それは来る……。狂信もないかわりに、安易な妥協もない、PUの思想が正当な評価を受ける黄金時代が、きつと来るに違いない。

何年先になるか、そのような時代には、「殺類100%が危険であるから50%がよからう」といったたぐいの反動や妥協は、単細胞呼ばわりされるに決まっている。

ともあれ、今少し、この事件の推移を追ってみよう。二月中旬以降のイコール氏の反セクト、反マクロビオティック闘争の主な動向は、次の通りである。(二月中旬までは4月号参照のこと。そこにもれていた新聞二、三は、以下に追記する)

二月中旬——フランス各新聞に、「私は訴える」の反響記事と反イコール記事続く。

下旬——イコール氏地方講演に乗り出し南仏トゥールーズ等で講演。パリの家族保護協会(反セクト協会)の活動、活発になる。

三月上旬——イコール氏の活動、スイスのジュネー

ブとロザンヌへ飛び火。講演、テレビ、新聞、ラジオを使って攻撃。

三月中旬——パリで攻撃再燃、「より強力な、新しい反セクト協会を作る」と公言。

三月下旬——告発の内容、次第に冷静さを帯び、正確になる。非難目標は、「医師法違反」七

号食万能」「経済的搾取」にしばられる。四月下旬——ようやく静かになる。台風の目の中の静けさか?

四月中旬——三カ月にわたって売り上げ冊数毎週ト

ップを続けた「私は訴える」が、はじめて第五位に落ちる。しかし、本屋という本

屋、駅の売店とキヨスクのあらゆるコーナーに、いたるところで目につく。

四月下旬——イコール氏自筆の個人通信による告発あり。マスメディアでは、巧妙に個人攻撃

がふせられてきたが、通信では、個人名が、正確な人物像をともなって現われている。

(弟子丸氏、久司氏、ギイ・マサ氏、マリ

ー・フランス等々)

かなり詳しい情報をつかんでいることがわかる。

マスメディアによる告発(二月中旬以降)

二月六日「リュニテ」紙 2ページ大  
十日「イヨール」紙(ロザンヌ) 1ページ  
十一日「ル・ソワール」紙(ベルギー)  
二十八日「レコー」紙(ロザンヌ)  
三月三日テレビ、スイス・ロマンド放送

三月九日『ヴァレール・アクチュエル』(週刊)1ページ

ジ

三月十四日『フィガロ・マガジン』紙

十五日『ジュルナル・デュ・ディマンシュ』紙

紙

十八日『キャナル・アン・シエヌ』紙

十九日ラジオ討論会

二十日『フィガロ』紙

二十二日ラジオ放送

『ラ・デベツシュ』紙

三、四月合併号『リュミエール』誌

(ほかにも紙誌いろいろある模様)

右、新聞雑誌のタイトル、概して次のようなもの。

「私はセクトを告発する」

「子供に危険な食事法」

「警戒せよ、セクトとその幻影」

「息子を殺したセクトを告発する」

「私の息子は犯罪セクトによって殺された」

主な記事を選んで、その要旨を次に紹介したい。

■編集部訂正 5月号5ページ下段18行目「ムード」

を「流行」に、6ページ上段23行目を「妙っただけ

で食べていたようである」に、6ページ中段19〜21

行目を「かつての西洋による植民地搾取が、久しく

我々の恥ずかしい思い出として罪悪感になっている

コトは、私もそのまま認める」に、8ページ上段20

〜21行目を「おお、そしたら、どんな騒動になるこ

とか」とし、11ページ下段5〜7行目の「その時、

セクト」は……するだろう」を抹消します。

編集部の不注意により、訳者と読者にご迷惑をお

かけしたことをおわびします。

### ●料理教室修了試作会

日本C I協会本部のリマ・クッキングアカデミー  
春期の修了試作会(第29回)が、4月12日(日)の12  
時から4時からの2回に分けて開かれ、校長の桜  
沢里真先生、浮津宏子先生から講評があり、桜沢里  
真先生から各級免状の授与がありました。お名前は  
次の通りです。おめでとうございます。(敬称略)

\*初級——村尾依志子、山崎和子、小山いく子、中  
村喜久江、小林典男、山田静子、川崎ひとみ、高橋  
守人、榎本福美、青江鎮夫、石堀路依孔、浅妻真智  
子、中村弘子、島村美恵子、市村トヨ子、柳アヤ子、  
小倉麻里子、乳井美代子、鈴木照子、石橋利雄

\*中級——佐々木郁、酒井千鶴子、下田珠恵、飯塚  
弓子、大矢根祐子、長井ハマ、山本祐希、高島加代  
子、松下悦子、橋本慶子、竹中千品、加藤忠子、村  
尾依志子、香取富美子、小永井八重子、石井潤子、  
渡部幸子、鈴木克博、神田芳子

\*上級——橋詰ほなみ、竹中千品、加藤忠子、村尾  
依志子、五寛久男、福富敬子、小永井八重子、本間  
英子、別府みどり、大野清子、渡辺君江、重松昌子、  
家田佳枝、小町美智子、阿賀谷陽嘉、斎藤友貴子  
\*師範——金花衣、泰野絹子、吉田久二、鈴木秀俊、  
南条容子、松田弘子、井上禎子、斎藤スイ、平井俊  
子、上田清子、吉岡陽子

## 7号食を実践しよう!

……この時代だからこそ。

### ✦心身改造ドック

当会独自のシステムにより、7号正食がらくらく  
実行できます。体毒をどんどん排泄し、きれ  
いな血液をつくり、心身を浄化します。

※宿泊設備完備(通い可)

#### ■81年度ドック開催日

6月22日～28日 7月20日～26日

8月17日～23日 9月14日～20日

※詳細はTELにてお問い合わせください。

### 真澄会健康センター

●心身改造ドック ●クールバード温浴 ●純正食品販売  
新宿区下落合3-15-20大和田ビル 901号  
(国電目白駅徒歩5分) ☎950-5219

## '81『マクロビオティック座談会』のお知らせ

食養をよりよく実践するために、日常生活の中でおこ  
る身近な問題を、さまざまな形で取り上げて、皆で考え  
てみましょう。

まず、具体的なテーマにそって、大森一慧先生の体験  
に基づいたお話を聞き、そのあとで、自由な形式で質問  
や意見交換をします。

ひとりよがりにならないで、楽しく食養をするように  
共に語り、学んでいきたいと思えます。

どなたでも、気軽にご参加ください。

●毎月2回、火曜日14:30～16:30(日本C I協会2階にて)

●講師/大森一慧先生 ●参加費/1000円

日程/6月9日、23日、7月7日、の14:30から。

●問合せ/日本C I協会 ☎03-469-7631(担当/越川みよ子)

●昭和4年初版、社団法人食養会の総力を結集した、

# 桜沢如一編 食養講義録

古書価格3～5万円の幻の著作、食養研究者 必備。

復刻再刷！

原本4巻1200ページを1冊に縮刷

定価 7,500円

送料 300円

# 石塚左玄 化学的食養長壽論

明治二十九年発行の食養の原典！  
古書店でも絶対入手不可能の本を美麗  
復刻再刷！ 限定千部発行

定価 7,500円

送料 300円

日本C I 協会

## 『講義録』 目次

### 食養学原論 I

―生命及び生活現象の支配者について―

(一) 万物の組み立て／天地自然の生れ／ナトリウムおよびカリウムの形態／色彩上の相違／形相／所在／作用／万物の組み立て

(二) 生命および生活現象の支配者／食物におけるナトリウムおよびカリウムの多少／日用食品百覧中における「ナ」「カ」の数量および差引表／生命現象における「ナ」「カ」の影響／生命において、体格、体質、疾病について／性質、思想について

### 食養学原論 II

(一) 伝統的純正日本食とその崩壊／日本の伝統／日本食の伝統／日本食物史の一瞥

(二) 食物の取り方と栄養／粗食、美食、肉食、肉食、少食、大食、調理、栄養、消化、不消化／ビタミンとその他の栄養素

(三) 食物の性質、栄養および分量／動物性のもの／植物性のもの／主食物と副食物

### 食養学原論 III

―食養生―

(一) たのしき健康とめてたき長寿／衣食住の問題／健康

### 食養料理法

(四) 食物の身体におよぼす特殊な影響／病氣／生命にかかわるもの、食い合せ／薬用食物と郷土的な調理

(五) 国民食政の復古

### 食養療法

(一) 西洋医学とその療法

(二) 東洋医学とその療法

(三) 食養療法と食養道

最後の重要な注意書き

食養療法

※索引の一例 シ：痔(シ)／耳下腺炎

／子宮ガン／子宮筋腫／子宮実質炎／子宮病／歯ぎしり／舌・唇の乾き／舌のただれ／しつ／疥癬／脂疹／耳鼻咽喉の病氣／ジフテリア／脂肪心／しもやけ／しゃっくり／充血／消渴(しよたかち)／小児の驚癇／疳積／小便／食あたり／食滞／食道狭窄／しらくも／白舌／白そこひ／神経衰弱／神経痛／腎臓炎／心臓病／心臓弁膜症／ジンを治す法の索引(シ)の項と比較してみてください。内容の豊富さに驚かれます。

民間療法

実験集

B5大判313ページ

日本C I 協会

■6月中旬入荷！

■『長寿論』『講義録』両方は、15,000円 送料 400円。

■日本C I 協会の正会員の方は、お申し込みくださると、5%分(700円)の日本C I 協会発行の本に有効な図書券を送ります。



# TOWN SPECIAL

## いま世界中の若者が熱中する マクロビオティックの "自由感覚"



▲「玄米がいのちのものになるのです」と語る桜沢里真さん(日本C1協会会長)。

「フランスの女性は、肉とじゃがいもしか料理しないから、日本の女性と結婚したい。ほくは、マクロビオティックを勉強して、ほんとうの『自由』の意味を知ったよ」といって、フランソワ・ダビッドさんは、ちょっとおどけた表情を見せました。ダビッドさんはフランス人の学生。フランスでマクロビオティックを知り、本場の日本にあこがれたことと、指圧の勉強をしたくて、この2月に来日しました。

マクロビオティックは、日本国内よりも、むしろヨーロッパやアメリカなど外国の若者たちが熱中している、ユニークな精神文化。単なる自然食のグループではなく、宇宙の秩序、自然の法則に調和する生活をいとむことによつて、血液と細胞を浄化し、人

間性の進化を実現しようとするものです。

自然の法則なんていうと、むずかしそうだけど、たとえば食べものは、自分の住んでいるところでとれるものを食べるのがいちばんよいのです。海沿いの土地で魚を食べる人たちは、魚の毒けしにみかんを食べます。みかんの産地は海岸沿いですから、魚とみかんの取り合わせは、自然の理にかなっているのです。そういった意味で、熱帯の産物であるコーヒーやバナナなどを、温帯に住んでいる日本人がとりすぎるのは「自然」ではない、ということになります。

マクロビオティックでは、この「自然」を理解するために「陰と陽」の考え方をしています。すべての病気は陰と陽のバランスがくずれていることから起る。逆に、その人なりに陰と陽のバランスをとれば、心身ともに健康になる、というわけです。

この「陰と陽」は、本格的につきつめるとかなりむずかしいので、初歩的な知識にとどめます。

★陰……寒色、夜、遠心力、拡散、上昇、植物、女性。

●陽……暖色、昼、求心力、収縮、下降、動物、男性。

ピンとこないかもしれませんが、さきほどの例だと、魚は陽でみかんは陰、バランスがとれています。陰は遠心力、上昇で、陽は求心力、下降という考え方からすれば、高い木の上のほうになっているバナナやパイナップルは、強烈な陰。熱帯に住んでいる人たちは、太陽という強烈な陽のもとで生活していますから、ちょうどバランスがとれる、というわけです。

縮、下降、動物、男性。

つぎに、女の子を四つのタイプにわけて健康法のアドバイスを行います。

■色白ぼっちょリタイプ  
最近すぐくふえている



▲動物性のものやさとうは使わない。

講談社の女高生マンガ誌

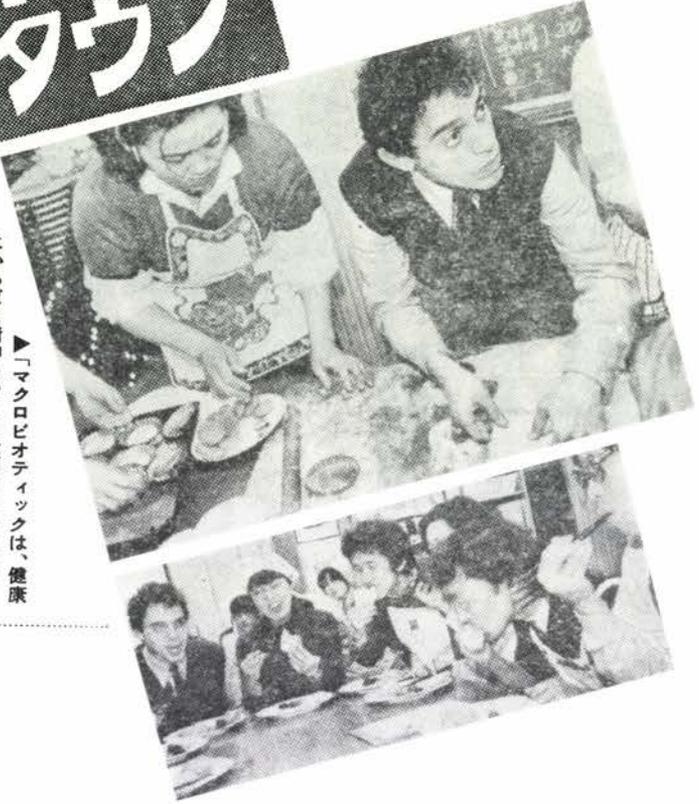
monthly  
**mimi**

56年6月号

# ヤング★ タウン YOUNG

タイプ。一見健康そうだが、貧血がみでバテやすい。ジュースなど水っぽいもの、甘いものをな

なからだと精神をつくる最高の料理」と、パイの皮をのびしながら語るフランソワ・タビッドさん。



るべくとらないようにする。



主食をすくなくする。塩けをへらす。野菜を多くとる。

■肝っ玉かあさんタイプ  
食べすぎ、飲みすぎなので、

■消極もやしっ子タイプ  
短期間の断食をするのもよい。



やせてるのに、なんだかんだと騒がしいタイプ。塩辛

■ガリガリおせっかいタイプ  
心力だから地中に下降する、そんな食べものもとること。



胃弱タイプ。うどんやもちなど、からだをあつためる食べものをとること。アイスクリームなど、からだをひやすものはダメ。コーヒーもダメ。主食は多めに、副食はごぼう、にんじんなど陽性のもの（陽は求心力だから地中に下降する、そんな食べもの）もとること。

好きの子に多い。塩けをひかえて、うどん、パン、おかゆなどを食べる。ゆつたり温泉につかって、からだをあつためるのもよさそう。野菜は適量を。マクロビオティックを主宰している桜沢里真さん（日本CI協会会長）に、最近の若い女の子について感じることを話してもらいました。

「このごろの女の子には、ヒゲがはえている子がいるんです。肉のとりすぎで、男性化してきているんですね。さとうのとりすぎ、くだもの食べすぎも、集中力や意欲の減退につながります。一日も早く、自分が宇宙や自然の一部であることを知って、自分に合った正しい食生活をはじめてほしいと思います」



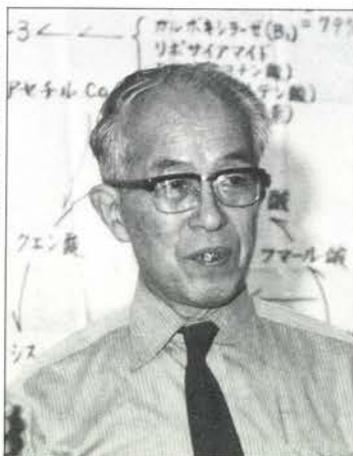
# 春だ！ 行事がいっぱい



▲ 4月26日、武智鉄二先生  
「伝統演劇の民族性」



▲ 料理教室修了試作会。桜沢里真会長のお話。



▶ 5月3日、沼田勇先生。  
「食養医40年の体験」ほか。



◀ 4月19日、春のピクニック。大山へ。



▲ 狩野 誠先生



▲ 小川みち先生



▲ 谷 克彦先生



▲ 三上光治先生



▲ 佐々井 諫先生



# ごま塩の作り方

ゴマ塩は、正食家庭の食卓に欠かせないものです。特に、食箋にしたがって体を治す時には、念入りに作ったゴマ塩が大きな働きをします。ある人が作ったゴマ塩をちよつとなめてみれば、その人の正食料理の腕と誠意がどのくらい分かる、とまで言われます。

ゴマは、良質の油を含み、タンパク質やカルシウムも豊富です。かりに、塩をなめたすると、それだけでは、ほとんど腎臓に集まって小水として処理されてしまいます。塩の粒子をゴマの油でくるんで、ゴマ塩として摂ると、全身の細胞の中に塩気として入っていきます。そうかといって、ゴマをきつくすって油をうんと出してしまつと、油が酸化して変質が早くなつてしまいます。だから、ゴマ塩を作るのに細心の注意がいるのです。また、いくらゴマ塩が良い食品だといつても、小粒で陽性なものですから、摂りすぎることは、明らかに害があります。少々からめにつくつて、少量を摂るようにしたほうが、塩味のうすいゴマ塩を大量に摂るよりは良いです。

男と女、大人と子供、老人では、適当なゴマ塩が違います。また、体質の陰性・陽性によつても違つてきます。白ゴマのほうが、油が多く、カルシウムやタンパクも少なく、陰性ですので、陽性な女性や子供さんに向いています。陽性なタイプの女性が黒ゴマを長年とりつづけると、毛深くなることがあります。しかし、急に毛深くなる、ということではありませんから、陰性な女性の人は、塩からい黒ゴマ塩をとらなくてはいけません。そ

れぞれ塩味の違うものを用意して食卓に置いておくと、しぜんと自分にいちばん合うゴマ塩を選ぶようになります。(ついでですが、パンにゴマバターをたっぷりぬつて食べる人がいますが、ゴマを摂りすぎることになるので、ご注意ください。また、ピーナツバターは、ピーナツ自体、いちばん酸化しやすい油ですから、正食家は食べたりに使つたりしません。パンに薄めたしょうゆをぬつて焼くと、おいしいものです)

## ■材料

なるべく純日本産のゴマ(ふつうに売っているのは中国産など輸入品が多い。黒く色つけしてあるのなどはもつてのほか。ご注意)

少々ニガリを含んだ自然塩(塩化ナトリウム99%という精製塩、イオン交換樹脂膜の電気透析法による化学塩は、食塩とは認められません。自然塩とか、あら塩とか、漬け物用とか銘うっている塩でも、適量のニガリが入っていないとか、よけいなものをまぜたりしていることがあるので注意が必要。現在入手できるものでは「赤穂の天塩」または「伯方の塩」というブランドのものが比較的良いものです)

## ■ゴマと塩の比率

容積(かさ)で計つて、ゴマと塩の比率が、6対4という塩からいものから、7対3、8対2、9対1、12対1のいろいろありますが、体質が陰性の人には塩からいもの、陽性な人には塩のうすいもの、男にはからめ、女性、子供、老人にはうす味のものを出すと、冬の寒い季節や寒い地方

では、からめにして、暑い時や暑い地方ではうす味にするとか、病気の陰性・陽性によって使い分けるようにします。

おいしい、と感じる塩味は、主食、特に玄米をよくよく噛んだ時のものです。たとえば、7対3のゴマ塩は、それだけなめたら塩からいものですが、上手に炊いた玄米ご飯にゴマ塩をふつたものを、80粒くらい少量をハシに取り（いっぺんにたくさん口に入れない）、百五十回から二百回もよく噛むと、唾液がまじって、澱粉が、糖分にかわり、すぐく甘くなります。この時に、おいしいと思う塩加減のゴマ塩が、その人にいちばん適当なのです。

陰性の傾向のある病気の人は7対3のゴマ塩が標準です。

### ■ゴマの洗い方

洗いゴマとして売っているものでも砂が入っていることがありますから、必ず洗います。まず、どの比率のゴマ塩を作るのかを決めて、ゴマを計ります。ポウルにゴマを入れ、七分目ほど水を入れて、軽くかきまわして洗います。それを目の細かい金ザルに静かにあけます。

この時、一度に全部あけてしまうと、混ざっている砂などが、またゴマと一緒にになってしまうので、少しずつあけては、ポウルに水を足して、またあけるようにすると、最後にポウルの底に砂やゴミが残り、きれいに洗えます。

ゴマの入ったザルを水につけてふり洗いをして、かたく水気をしばったスポンジの上のせて水分

を吸い取ります。または、おぼんに布巾をしき、その上に拡げてひと晩くらいおいて乾かします。

### ■塩の炒り方

塩を厚手の鉄鍋（ほんとうはホウロク）に入れて中火でザツと炒ります。焼きすぎると黄色に変色してまざるようになります。

ついでに言うと、アルミ鍋で塩気をつよい料理をすると、アルミニウムと塩が化合してしまますから、なるべく避けまます。

### ■塩をする

炒った塩をすり鉢にいれて、固まった粒がないようによくすります。

### ■ゴマの炒り方

洗ったゴマを弱火よりもすこし強めの火で炒ります。熱が均等にまわるようによくかきまぜまます。三粒はねるまで炒る、とか言いますが、もう少し長めに炒ります。ゴマを指先でつまんでみて、皮がポロツとむけるくらいがちょうどよく、炒りすぎると焦げてしまつて油分が飛んでしま、まざるようになります。

### ■ゴマ塩のすり方

塩をすつたすり鉢の中へ炒ったゴマを入れ、左手はすりこぎを支えるように軽く持ち、右手でゴマの油を出しすぎないように、しかし、塩にゴマの油がくるまるように、静かに力を入れず、よくすります。プツンプツンとゴマがはじけて、良い香りが台所いっぱいにひろがります。（ゴマの良し悪しがこれで分かります）

上手に作つたゴマ塩ならば、これを摂つたからといってノドが乾いてお茶をよけいに飲んでしまふ、ということはありません。ゴマ塩は、食物、特に主食の玄米ご飯とよくまぎって胃腸に達し、良質の血液をつくり、細胞の塩気をおぎなつて体調をととのえる、大切な役をします。

ただし、長期にわたつて多量に摂りすぎると、ゴマは油ですから肝臓をいためます。肝臓は油を処理するところですが、処理能力以上の油が入つてくると、パンクして病気になります。桜沢先生は、ふつうの人の場合、油は一日に小さじ一杯でいい、と言いました。玄米自体に相当な油があることに注意してください。『新食養療法』その他の昔の食養の本は、主食が半つき米という油けのないものだった、というので、比較的、油を使うように書いてあるのです。

みそ汁の実を必ず油で炒めなければならぬ、というわけではありません。夏などは、サツとカラ炒りしただけにするとか、油を使うとしても、ほんの少量でよいものです。みそ汁に油が浮くようなのは落第です。天ぷら、コーフカツなど、油ものは、ごくたまに食べるものです。もし食べるときは、大根おろしやレモン汁をたっぷりつけて油のカロリーを打ち消すようにして食べまます。油をとりすぎた場合、発熱することがありますが、その場合は、第一大根湯をどんぶり一杯のむとか、干しシイタケのスープを好みのしょうゆ味でのむとか、酸っぱい小粒のリンゴをおろして食べ、次にリンゴの汁だけにレモン汁を数滴たらしめてのむ

と熱が下がります。

ゴマ塩は、上手に作れば三カ月くらいもちますが、あまり古いゴマ塩を摂ることは感心しません。ふつうの家庭では、半月以上古いものはのこさないようにします。ゴマ塩は、キッチリとフタのできる容器に入れて、湿気たり油が酸化しないようにします。

ゴマ塩のスプーンは、小さな木のスプーンがよいものです。小さめのスプーンにすると、かけすぎません。

ゴマ塩の種類は、

①7対3の黒ゴマ……男性の大人用。体に塩気の足りない女性用。切り傷で出血しているのを止めるのにとん服する時などぜひ必要。

②8対2の黒ゴマ……ふつうの男性用。

③9対1または10対1の白ゴマ……陽性な女性向き、子供用、老人向き。

小川茂年主筆

月刊「生きている」

純胡麻油「胡香の光」

本練胡麻「美の光」

〒153 目黒区三田二一五一二  
電話〇三・七一九・三四六一

(有) 健 民

月刊「自然食ニュース」  
年間購読料一、八〇〇円

(有) グリーンハートサービス

健康を守る長命の酒

笹の井 金宝 自然酒

無肥料、無農薬の自然米を原料として、防腐剤、増量アルコール、ブドウ糖、化学薬品等一切入っておらず、出来上ったままをビン詰めにした貴重なお酒です。

十本単位にて全国に発送いたします。



二級税率適用 一・八リットル 一七二〇円  
一級税率適用 一・八リットル 二一六〇円

代金前払い、送料着払い。

振替／大阪九五二五九 大喜酒販

住友銀行庄内支店当座／三三四四五 大喜酒販

大喜酒販

〒561 豊中市利倉東一丁目十四ー四七  
TEL (〇六) 八六三・四七三八

第1集

## 食物による健康法・料理法特集

『新しき世界へ』1980年8・9月合併号

特価1200円  
(送料共)

保存活用版 (病名・手当名の索引つき)

●10部購入の方には  
1部無代進呈

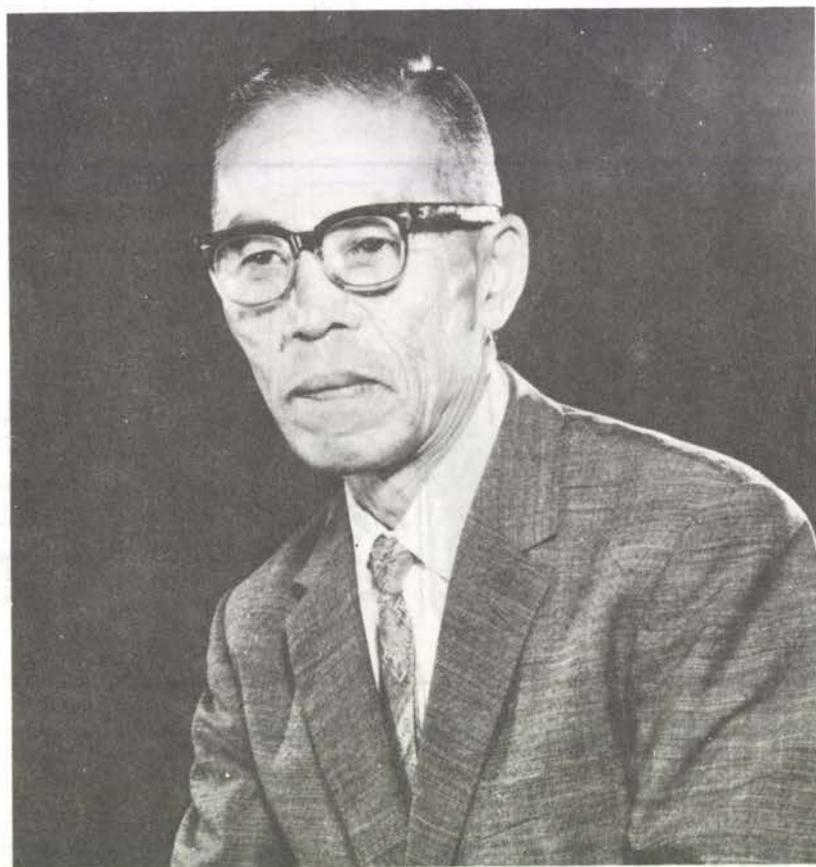
桜沢里真 / 葉月の食養料理

大森英桜 / 七号食・少食・反応、手当法の実際

大森一慧 / 一家を健康にする料理の工夫、食箋料理

●第2集 (11月号) は健康相談特集です。(価格は第1集と同じ)

# 特選 桜沢如一



「我々は一切を甘受する。だから我々は悪や病苦や、野蛮人や精神病者をも歓迎する。平和のように戦争をも拒否しない。我々は孤高や隠棲をとらない。生のように死をも恐れない。美のように醜怪をも愛する。こんな世界観がなかったら、人は世界が一つ、宇宙も一つ、生命も一つ、社会も一つ、地球も一つ——という世界一家、人間ミナ一家という平和の思想を理解するコトはできない」

# 「意志」教育五十年の

## 実験報告(抄)

1966

ここに新しき生物学的、生理学的教育法を発見する必要がある。

### (一) 全ての教育の基礎

#### 意志の教育

まえがき

#### 新しい教育

現代西洋教育は科学的である。それは、第二判断力(感覺的)を至上とする技術教育、または職業教育、渡世教育にさえなっている。それは、自然征服をモットーとしてきた。

五千年來、東洋教育は全く正反對で、貧窮を清とし聖として菜根をかみ、苦難を師とし、艱難を友として、菜根をかみ、もらぬほどの屋根、飢えぬほどの食を感謝し、寒暑を敵に非ずして身体を鍛える師とし、鳥獸虫けらを殺さず(いわんや微生物をや)、万物万人に和し春風をもって人に接し、秋霜をもって自己を持ち、他を許し、人を敬し、愛し、生命を惜しまず、ひたすら真理、不易の丕基(大本)を求め、和、敬、清淨、精進を行とするコトを教えるモノであつた。

東洋教育は精神的で、自然に追順するコトを

一大飛行機としてしまった。

最高の判断力に達する道として教えた。やがてソレは渡世教育者によって「タネや芽にスグ花や実となるコトを教える」觀念教育におち、人民を「忠君愛國」のロボットにし、氣骨なき服従者、模倣者にした。それはマダ幼い人間の芽に、成人すら達しがたい理想や聖人の行を模倣するように教えこんだ。そのため、絢爛たる西洋科学文明に接するや、人民はタチマチ物質的にも精神的にも忠実なる服従者、盲従者となり、国家は植民地化されてしまった。

日本は百年來、進んで西洋教育を取り上げ、西洋文明の忠実な追従者になるために全力をあげて来た。その結果、世界史上空前の敗戦を招き、上述の西洋文明の最大の世界帝国アメリカのごとく、犯罪非行、精神病、アレルギー疾患、心臓諸病、ガン、医原病、無批判力、無思考力、精神薄弱児、身体障害者の激増となつている。

かくて西洋教育も、東洋教育も、今は地球を不幸、不自由、戦争、病禍、苦惱、不安のドン底に向かつて三五億人をのせて驚進する球形の

東洋で五千年も前に完成されていた医学は、フシギなことに対症療法でなく、全くの自然な原因根治法である。だから、養生法とか、不老長寿法とか、延命息災法とか、処世法とかいわれて来た。

それは、症状の治療をネライとする医学ではなく、人間の判断力の展開向上をネライとする、教育的な医学であつた。「修身」が正しい名であり(修身ではない)、齊家、治國、平天下の基礎工事であつた。だから精進とか、修養といつた方が正しい。

人間の五大宗教は、東洋に生れた。それらはスベテ、全人類の切望する、幸福な生活を送り平和な世界を建設する一元論の根本条件の集大成、理論と行の一枚化、自証であるから、モチロン健康法も医学も生理、病理学も含んでいる。ただ、その理解が数千年を経るうちに弱くなり、低くなつたために、絢爛たる三元論の対症療法技術、原子論的、唯物論的現代文明の舶來するや、タチマチ幻惑され、見すてられたにすぎない。

人間にとって、先決問題は健康の確立である。だから健康教育、衛生法、養生法の教育が最も大切である。人間以外のスベテノ生物は、自ら健康をコントロールする方法を知っている。西洋医学では、症状を除去することを第一にし、原因を考えず、ケツシテ生命力の根本を確認しようともせず、したがって特殊な技術となり、渡世におち、教育的精神は完全に抹殺されている。そのため、現代医学は、そのオドロクベキ技術的進歩にもかかわらず、ようやくその死角に窮している。

東洋では、教育は第一に「修身」（自分自身を、自分のために、自分の力で健康にし、自らコントロールし、自由で平和な一生を送る生物学的、生理学的自己修養、自学、自習、独立、独歩の道）でなくてはならないとし、医学と教育を三元化せず、修養、自証の一本道とした。十代に三人の肉親の死に当面したオカゲで、私は夭折（若死）の不合理の真因を発見することを志し、幸いにもソレを発見した。サテ、その実生活の方法を他に伝えんとするや、タチマチ、人生における第二の大問題、「意志」に当面した。

マルクスは、全ての社会悪が飲食物の配方法にあるコトを発見し、それを正しくした社会組織を革命によって確立するコトを教えた。その主義は、カレの死後六十年を出でずして世界の人口の大半を指導するに至った。しかし、社会悪はマダ改正されず、かえって、より深刻と

なり凶相をとり、大規模になり、人間は戦争の不安と恐怖に戦っている。個人の健康と自由、幸福と平和も、依然として脅かされている。一般の病院や精神病院が、昔の寺院や学校のごとく、都市生活指導の中心になってしまった。医学や医療機関の発展は、病苦の増加を示すにすぎない。強大な警察力が凶悪犯人の増加を意味すると同様。

つまり、マルクス学説は美事に社会構造を変えたが、本尊たる人間の精神、トクニ世界観、意志を忘れていたのである。

正食法を実生活すると、全ての不治の難病がタチマチ拭掃され、スベテノ不安が一掃され、仏陀のいう生物学的、生理学的「四苦」（生、老、病、死）は解決され、少年、青年は学業が楽しくなり、成績は急によくなり、成人は事業が延び、日々が幸福になり、家庭は明るくなり、人生がオモシロくなる。

すなわち、このままゆけば天下泰平、世界平和はタチマチ実現するのであるが、惜しいかな、ソノ簡素な食生活を継続する鋼鉄の「意志」が多くの人、コトに病気をするような人に欠けている。そんな人だから病気になるったり、貧苦に沈んだり、犯罪に追いやられたりしたのである。だから、精神教育、意志教育は社会改造に先行する。この意志教育を怠ると、社会改造が完成しても、サラリドレイや、機械の付属品、依存人種がふえ、余暇はパチンコ、麻雀、傍観者、ロボット、付和雷同組がふえるバカリで、創造

性は急遽（突然）低下し、模倣性がふえてくるだけである。自らを創造し、自らの運命を創作するモノが少なくなるからである。

教育の基底は、第一、健康の自己コントロール、第二、意志の確立である。とすると、第一は正食法で解決できるとしても、第二の意志強化は、いかなる教育法によるのか。これが大問題である。

## (二) 意志の教育

意志の重要性は、昔からアラユル大人物、自由人、聖賢によって絶叫されている。何人もソレを否定しない。スベテノ人はソレを肯定する。しかし、ソレを実生活するとなると失敗する人が多い。また、強固な意志をもって一生努力しても、そして成功しても、權花一朝のユメ、そのため、かえって大きな不幸に出会ったり、悲劇的な最期をとげる人が多い。

これはドンナ理由があるのか？ 意志にもいろいろな種類や段階があるのか？ 一体全体「意志」とは何か？ 意志の他に運命を変える条件があるのか？

これらの問いに対して科学は頑として沈黙を守る。相對、有限、無常轉變の形而下学的世界、平たくいえば物質界の探究を元来最高のネライとして来た西洋の学問（ムシロ技術）では当然である。私は、その答えを無限、絶対、永遠、恒常、不変の形而上学的世界（平たくいえば精

神界)を主として探究して来た東洋の学問に求める。その答えは、次のごときモノである。

(1) 意志は判断の進行形である。

(2) 判断には七つの段階がある。

- 1 盲目的、あるいは機械的
- 2 感覚的
- 3 感情的
- 4 知性的
- 5 社会的
- 6 思想的
- 7 最高判断力

(3) 意志にも七つの段階がある。

- 1 餓鬼道
- 2 畜生道
- 3 信
- 4 知
- 5 礼
- 6 義
- 7 仁

(4) 判断と意志の七段階は、種、芽、幹、枝、葉、花、実という生命の自然生長過程である。

つまり、判断—意志は生命力ソノモノである。

(ただし、その第一—六段は相対有限界のみしか通用しない。第七のみは相対界にも絶対界にも通用し、両者を一元化する。)

(5) 自然生長—生命力は、宇宙万有の生成発展の原理である。

(6) 生命力は、明暗、冷暖、乾湿、圧迫と弛緩、求心力と遠心力、苦楽等の、陰陽二元の交

互交感の条件によって延びる。

(7) 生命力、すなわち意志(無限の爆発的拡散力)の本来の姿を達観大観させるコトが、教育の最大の使命である。強烈無比なる意志と絶対の健康を持つ人間は、「無為にして化し」、「説かずして説伏し」、「山を海に入れと命じ」、「戦わずして勝ち」、「敗けて勝ち」、「柔をもって剛を制し」、「不可能を可能にし」、「困難を喜ぶ」のである。

意志の教育法とは？

意志は7つの段階を経て自由に自然に成長するモノであるから、人為的な、外部からの教育は不要である。動物は学校をもたないけれど、ミナ完全にスクスク成長する。そして、人間のような病苦、争い、悩み、貧苦、美衣美食、享楽、肉体の切り売り(サラリー取り)、犯罪、戦争はやらないで、一生を自由に平和に送る。植物にしても微生物にしても全く同様である。小さい何の武器も力ももたない一粒のタネでも、地底の暗黒や、重圧や、寒冷や、冷たい湿気に身をまかせ、ソレラを取り入れ、ソレラをピストンとし、エネルギー源として伸び、芽を出し、ふまれたり、くわれたりしながら、そのたびに、ソレによって自らを強化し生長する。

人間も同様の過程を経由しさえすれば自由に平和な一生を送れるのだが、人為的、オセンチや享乐的欲望で、人工的な安易、至便、快樂、援助、豊富、安心を求め、自然の生命力を弱め

てしまふ。

だから、教育はただ本来の生物学的な健康を生み出す条件の重大さを体得する機会、環境を与えるコトだけで十分である。つまり、百万年もかかって人間が発見した「和」という最高のネライを実現する道、すなわち、正しい食物、正しい取り合せ、正しい料理法、正しい食べ方だけ教えれば足りる。すると、判断力は自然の生長過程をとって生長するから、全ての人間の基本的な社会生活に必要な知識は自ら学び、自ら習得する。教育者や両親は、ヨキ見本を生活して見せるだけで十分。

不幸にしてソナナ教育をうけなかったモノは自ら適者生存の原理で淘汰され、おそまきながら、種や芽の暗黒の世界の苦しみを味わう。その間に少数のモノは自暴自棄におちいり、マスマス不幸になり、犯罪者や病人、ドレイ渡世になってゆく。不幸者、不自由者は文明社会の重荷になり、戦争を招く原因ともなることもある。そんな不幸者を作り出すモトは、親や教育者の低い判断力である。

しかし、ソレらの低判断力が生み出す困難、社会苦は、健康にして正常なる最上判断力をもつ人々にとっては可欠な試金石でしかない。それらの社会悪や社会苦だけが、判断力を意志に転変するモノであるから。

### (三) 科学文明世界の教育

私は、欧米諸国の教育を二十年以上、見て来

た。ソレは当然、その文明を造り上げた科学教育が主軸になっている。渡世のための技術教育が大部分である。つまり、形而下学的教育で、二分の一の一元論である。

西洋の科学は、元来、形而下の学問で、エビキユールやデモクリトスらの「目に見える世界だけ」の探究の系統をくむモノが本流である。モチロン、哲学や宗教、倫理や思想など形而上学的な教育もないではない。リッパにあるにはある。しかし、形而下の王国ではアクセサリ一的存在である。それはルネッサンスまでは信仰的、神秘的、神がかり的なものであつたし、ルネッサンス後は完全に不合法的なモノとして、教育から公式的には分離された。だから、形而上の学、精神、生命、自由、幸福、正義、記憶、判断、健康、美、芸術についてはタッチしない。技術的にだけあつかうことが許されている。

そのため、非行少年少女がふえても、小中学生徒がガンで死ぬようになつたり、糖尿病患者が出るようになっても、現代の教育は、ひと言も発言できない。また、人間史上空前の戦乱、大虐殺がおこつても、米国のように、国民の十人に一人が必ず精神病になるようなコトになつても、教育は手をつかねて傍観しているだけである。

文明国の新聞のトップ記事は、毎朝、毎夕、犯罪や不幸、不時の災難に関するものである。それらはステテ現代の教育のツミと無能の大氷山の一角の露出にすぎない。その証拠に、それ

らは、いわゆる教育の普及していない国ではゼツタイに見られないモノである。文明や教育がすすむほど、不幸な病人や、巧妙で凶悪な犯罪が多い。

科学の最大の発明である最新の兵器は、人類史上空前の大虐殺、大破壊を可能にした。アウシュヴィッツの大虐殺、ヒロシマ、ナガサキの原爆などはその序幕であつた。原爆は、ヒロシマとナガサキで三二四、〇〇〇人余を一瞬に殺し、その後二十年、毎年、原爆を生きのびた人を徐々に殺している。

現代の世界史は、東インド会社、アフリカのドレイ狩り、ゴアや香港の占領から始まり、全有色人種の国々の白人による分割と植民地化は、キップリングや、ステイブンソン、或はパウンティ号の反乱船員によつて発見された美しい地上の天国を全部かき消してしまつた。つまり、白人、文明人は、その文明で世界をより美しく、より幸せに出来ると思つていたが、かえつて全世界を殺戮と破壊の舞台にし、全人類の最後を招いたのである。これが科学文明とその教育の最大の実績である。

しかしながら、白色人種の中にも、自己批判をする能力をもち、人類の最後を望見した人も、わずかながらあつた。シュベングラ、E・カーペンター、アレキシス・カレルなどは『西欧の没落』、『文明という名の病氣』、『人間—この未知なるもの』などの著書によつて、来たるべき文明とその教育の最後の悲劇を絶叫した。最

近、W・ハイトラは『人間と科学』なる書を著述し、理論物理学者として、現代の科学や教育が演出しつつある史上最大の悲劇、『全人類の最後』を防ぎ止める方法を勇敢に主張している。カレの主張は、

『おどろくべき発展をとげた科学文明は、今や精神錯乱におちいつている。現在見る地上空前の惨禍を救い、近づきつつある全人類の滅亡を防ぐためには、まず、この科学およびその文明の精神錯乱を救わねばならない。科学文明は、最初の出発点からまちがつていた。それは、見える世界、形而下の世界、物質、その粒子、根底の世界の探究と占領と独裁のみをネライにしていた。我々は有限、無常の粒子の世界の外に、無限の精神と宇宙空間のあることを忘れてはつていた。しかし、人間にとつて貴いものは、見えない世界、精神の世界にある。我々は今ただちに全ての形而下学的探究を中止し、全力をあげて形而上学的、精神文明の世界、無限の宇宙の秩序の探究を始めなくてはならない!!!』

ここに、現代、全人類、全文明人、科学の救済法の方が予言されている。しかも形而上学、精神、意志、真理、最高判断力、幸福と正義、平和と自由、無限の生命の探究は、五千年來、東洋の自由人、考える人（聖者）の専門であつた。カレラは人間の五大宗教を生みさえした。ソレラは今、余りにも古色蒼然たるミイラになつている。我々はソレラを一切すてて新しい世

界版を出そう。それは形而下学でもなければ、形而上学でもなく、同時に形而上学であり、形而下学であり、最も簡易で、実用的で、万人に直ちに理解され、白色人種にも、有色人種にも全く同様に実生活されうるものでなくてはならない。

これが、新しい生物学的、生理学的、実用的教育法である。その唯一の道具は実用弁証法(陰、陽をX、Yのごとく未知数として使いながらスベテノ難関をとくオモシロイ、子供にも一時間で分かる代数学)である。

私はこれを五四年間研究し、実生活し、教え広め、ツイニ世界各地で数百万人の実行者を得て来た。私はモ一十分、この実用弁証法(一名「魔法のメガネ」)を自分で実地にたしかめ、白色人種の科学文明の世界でも万人に確かめてもらい、確信を得たので、後続部隊にゆずり渡し、七四歳の今日、私は私の一生で初めて怒々自適の生活に入っている。毎日世界中の未知の国の、未知の人々から涙にぬれた感謝の手紙を受けとっている。

## 四)新しき世界、平和の世界

### を創造する教育

人類は今や歴史の第一巻を終った。それは宇宙の始めから数十億年、科学文明の最後までまでふくんでいる。

その最後の頁は黙示録の予言の通りであった。

第一の天使のラツパにつづいて、第二、第三……第七……黙示録の予言はスベテ現実になった。今こそ新しい世界への時が来た。第二巻が始まる。新しい世界は、新しい創世記ではじまる。創世記は創生記、生命の創造である。

第一の創生記の人類は、自然の造った環境に順応することに全力をあげ、鳥獣虫魚のごとく平和な自由な生活をつくり出して行った。しかし、人間は他の一切の生物とちがって、「考える脳」をもって生まれた。この考える頭脳のオカゲで、自然の挑戦に対する人間の応戦の様式は、二つの相反する生長、適応の過程をとる。一つは順応、他は自然征服。前者は純真なオドロキに始まり、不思議を経て、宇宙の秩序の発見に至り、ツイニ感恩——一体全体の平和の世界にたどりつく。他はオドロキよりもオソレに始まり、憎しみ——暴力による破壊、殺戮、征服のルートをとる。この東洋と西洋の生長過程の対照はおもしろい。この両者ともに、ウソ、イツワリ、タワゴト、ソラゴト、ニクシミ、ウラミ、ノロイのごとき低位の判断力に必然な産物があるが、そのパーセントは東西によって全く対照がハナハダしい。

ツイニ西と東の出合いの時が来た。征服を最高のネライとする西洋が、順応を最高の道とする東洋を暴力で征服に来た。そして、東洋という大きな獲物を前にして、暴力の征服者たちは相互に利害の衝突を見た。そして現在では黙示録に予言された人類の最後の悲惨な光景が展開し

ている。

しかし、今は再出発の時で、一切のやり直しである。人類の歴史の第二巻の第一頁の第一行である。まず第一に新しき世界を我々の手で再現しよう。その方法は教育である。その教育は生物学的、生理学的教育で、まず健康を確立する。それは「意志」の登場する舞台である。「健全なる精神(意志)を、健全なる身体に！」

新しき世界、自由で平和な世界を造る教育は、第一に健全な人間の創造から始まる。それは純粹に生物学的、生理学的な教育である。それは人類の生物学的進化の全過程三〇億年の生物学的、生理学的複製であり、再現である。

妊娠当初の卵子と精子との結合は、二八〇日間に約三〇億倍に成長する。(生まれてから赤ん坊は二〇年間に二〇倍になるにすぎない)だからこの三〇億生物学年が、人間創造の最も重要な過程である。(私はこの進化の過程、三〇億倍の成長、進化の期間を、進化や成長の生物学の単位、一生年、一世代とするコトが便利であると思う)。

「君は君のたべたモノである」と喝破した仏人(ブリヤ・サバラン)があるが、私は東洋精神の医学をさらに深く探究しつつ、万人にそれを伝えて五四年を送って来た間に、このコトバの真実性を日々より深く、より広く確認し、「食正しければ人もまた正しい」の結論に達した。

妊婦の正しい食物。人間の胎生期の母の食物ほど、人間の一生にとって、また人間社会にと

つて大切なものを私は知らない。それは人間の一生の基礎工事である。三〇億年の進化の過程縮小版、反復期である。この胎生期の食物以上大きな影響を人間の一生に与えるモノを私は知らない。(胎生期の正食法については『食養生読本』『新食養療法』参照) 以上は胎生期の人間の根本的な教育。

少年期、青年期の生物学的、生理学的教育も胎生期について重要である。この時期に「正しい食物」をとらせると、「健康の七大条件」にピッタリの少年、少女、青年が出来る。この七大条件を身につけた者は、自分のために、自分だけの力で、幸福な人生を作り上げる。自学自習、独立独歩の人になる。

ソナナ人は、第一に楽しい家をつくる。そして幸せな正しい社会づくり、国づくりに努力する。そんな人が一人に一人、一億人の国に一人万人いたら、その国は自由で平和な国になり、そんな国が十も出来たら、地上の平和は永久に確保され、動物の世界にも見られない野蛮な戦争という惨虐な集団殺人行為はなくなるだろう。平和(集団殺人のない世界)が、全人類の切望する世界だったら、ソレを実現する最も簡単な方法——教育は、この生物学的生理学的教育以外にはないであろう。

## (五)形式論理学を止揚する

### 実用弁証法の教育

## 宇宙の秩序

東洋諸国が西洋文明の植民地になったのは百数十年來のことであり、日本は一番おくれて約百年前の開国以来、西洋文明を自発的にうけ入れ精神的植民地になった。最初は軍事的必要に迫られ、次いで技術の輸入に努力し、さらに科学、学術の吸収に突進した。技術は比較的模倣や理解が理論より易しいので、今日では造船、カメラ、時計、繊維工業、ラジオ等の生産では欧米に伍するに至っている。しかし西洋には純粹理論的、精神的なモノはないので、その方面の輸入は著しいものがない。キリスト教、民主主義、多数決原理、進化論、幸福論(最大多数の最大幸福)、形式論理学、男女同権法理論、人口論、民約論、民権論、社会主義、共產主義、原子論、機械論のごとき反動的、技術的、仮説的、相対的、便宜的、統計的、多数決的、機械的、契約的理論が輸入されたが、科学と技術の実用性の大きさの光に幻惑されて、鵜のみされたにすぎない。

これらはイズレモ、理論的体裁はもっているが、本質的には単なる技術的なモノであつて、理論でも原理でも、理法でもない。東洋でいう理、法は永久不変の真理で、万法帰一、道、唯一なるモノ、大宇宙の法則、生命、大義、神などというモノの別名である。西洋にはソナナ一元論的思想がないから、その大義、道、一なるモノの代用品として、コレラのモノが余儀なく無

数に案出されたにすぎない。コレラのモノは全て、ヤガテ一元化されなくてはならないモノである。しかしデモクリトス、エピキュール、ターレス、ヘラクレイトス以来、二元論的思想しか知らない西洋人は、一元論を生み出すコトが出来ない。二元論の世界は三元、対立、相剋の世界であるから、あらゆる階層において、また、あらゆる条件下において相剋、対立、争い、戦争が絶えない。平和なく、大和同團結なく、破滅破局は永世につづいている。ソレは今日の科学文明の侵入する世界の至るところに見られる光景である。

この西洋科学文明の悲壯な悲劇的性格を思い、その行く末を心痛する人々は西洋にも現われた。フランスのルソーやヴォルテール、デイドロ、モンテスキュー、モンテーニュ、百科全書派などの出現は、その前奏曲である。しかし、カラの企画は所詮、画餅に帰した。カントも同様。ショーペンハウエルやヘーゲルは、東洋にひかれ一元論的世界観を樹立せんとして、失敗または未完成に終わっている。

現代に入ってシユベングラ、E・カーペンター、サミュエル・パトラー、エマーソンらは一元論の世界へ脱出せざる限り、西洋文明は自滅没落のほかないコトを先見し、予言した。アレキシス・カレルは医学、生化学方面から生命の一元論(対立、相剋を相補性とし、一元化する生命力の偉大さ)を望見したが、神秘化もつて終った。

ルイ・ケルヴランは、専門の生物学、生化学、電気生理学などを経て、生体中の原子転換の事実を発見し、イヨイヨ「生命力の本体を握らない限り、スベテノ知識は罪である」(トマス・アキナス)の断言の深遠な意味を発見した。しかし、カレは科学者の常で東洋の一元論は全く知らないため、また理解できないため、この空前の大発見を抱きながらノイローゼのドン底に沈んで行った。

ここにW・ハイトラウの登場の幕が切つておとされた。彼は一九〇四年生。二三歳で「ハイトラウ・ロンドンの原理」を発見した大理論物理学者。その主張は、

「西洋科学文明が絢爛たる発展をとげるとともに、黙示録的空前の悲惨な大殺戮と大犯罪と大破壊が地上を覆い、全人類は共同自殺に追いこまれた。ナゼ科学はカクモ悲惨な運命に全人類を追いこんでしまったのか？」

「答えはカンタンである。科学は第一歩から大きなマチガイをおかしている。科学の創始者たちは宇宙を物質と空間の二元と見た。そして空間を打ちすて、物質の根源のみを探究し、元素という仮装的単位を想定した。その想定を二千年抱きあため、今世紀に入つてから、最新の技術を利用して元素と呼びならわした仮想物質単位を、実在する絶対真実の物質として探究を進めた。つまり空想を実在とマチガエタのである。そしてツイニ、元素なる空想はアワレ、一つの小児型の空想で全くの夢想、痴人の夢にすぎ

なかつたコトを発見した。物質は空間に神出し鬼没する神変不可思議な数学的オバケである。」(ラップ博士編、ライフ社出版「物質」。ただし日本版は西洋科学しか知らない日本の科学者によつて訳されて、虚飾をつけている)。この物質の定義は自嘲のコトバとも、自殺的自供とも見えるが、科学者にとつてはマジメな真剣な結論である。

物の世界の探究——黄金による世界征覇は権花一朝の夢であるコトが東洋では昔から知られていたもので、科学的物質界の探究はムシロ抑制されていた。「色即是空、空即是色」や「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響あり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす。おこれる人も久しからず。ただ春の夜の夢のごとし。猛き者も遂には亡びぬ。ひとえに風の前の塵におなじ。……」というような思想が広く浸透していた。これが科学文明が東洋に起らなかった理由であるが、西洋文明の洗礼を幼少時にうけた現代日本科学者には全くわからない。はなはだしきは、東洋に科学の起らなかったコトを恥辱として承認し、「東洋は芸術的技巧、経験派で、西洋の理論的、学術には及びもつかない」と断言している人さえある。

西洋こそ理論をもたず、経験の集成、常識の整頓を唯一の学として術としているのである。科学は盲目的判断力の経験主義である。しかも、その経験の可能性の本質やメカニズムを全く探

究せず、単に幼稚きわまる機械論、原子論を空想で作り上げている。進化論、遺伝説、引力、分子力、核力、全ての科学の法則や仮説はその証明。つまり西洋科学は学術、技術ではあつても、ゼツタイニ東洋でいう学問(学びかつかう、自学自習、独立独歩、一元求道の精神)ではない。

だから経験を可能にする記憶力、記憶力を進行形に組み立てる判断力、判断力をイカナル条件下においても実行、実生活に応用する生命力などの本体は全く分らない。したがつて、生命力を破壊するよりほかに用途のないのが科学である。その最大の証明が現代対症医学である。ソレは症状の抹殺、破壊、取り替えより知らない。交通や通信の便利、生活の安易、労力の節約、快楽の増大、欲望の充足などに役立つ科学の諸発明は、生命力の本体を知らない以上、空間や時間の世界の恐るべき喪失であり、自然淘汰機構の破壊であるから、人類や生物全体の生命力の低下でしかない。科学文明最大の発明は、空前の兇器、水爆である。

こんな恐ろしい結果を科学に招かせた原動力は、西洋思想を支配する形式論理学である。この思考の大黒柱を止揚して、形而下の世界にだけしか有効でない形式論理学を、形而上の世界をも、形而下の世界をも一貫する宇宙万有論理学に展開させたら、科学の成果は全て、生命をより長くし、人生をより深くより楽しくし、世界は自由で平和になる。

ハイトラ教授は、西洋科学文明の根本的欠陥を理論物理学者として反省し、発見し、科学界からも、西洋社会からも排斥され、昔なら火刑にされる危険を冒して、科学文明の改造法を絶叫する。

「西洋科学文明の悲惨な最後を救うみちはただ一つ、ただちに一切の形而下学、科学の研究を中止し、東洋の形而上学の研究に全力を注ぐコトである！」

鳥の死なんとするや、何ぞその声の悲しき。

カレル博士もその名著「人間——この未知なるもの」の最後に、

「人類は亡びさうとしている。スベテノ文明は亡び去った。有史以来ここに初めて、一つの文明が、没落の第一歩に突入しながら、自分の欠陥が何に原因しているかを知り得たのである。それは多分、この知識を利用し、科学のおどろくべき偉力に助けられて、過去のあらゆる大民族に共通の悲惨な運命をさけ得るであろう。新しい道へ！我々は直ちに、今スグ、発足しなければならぬ！」

を絶叫している。

ハイトラの著は、カレルのソレに比べると三〇年あとから出ただけに、一歩を進めて、科学をのりこえて、東洋の形而上学的世界観に突進しようという。

私は過ぎし六〇年間に数千の西洋科学者の本を読んだが、クロード・ベルナル、ルネ・ケントン、カレル、ケルヴランの四人の達観と勇

気には全く敬服した。しかし、五人目のハイトラはそれら四人をハルカニ凌駕した決定的な西洋人の自己批判であると思う。

ハイトラ教授は「東洋の形而上学へ今スグ我々は方向をかえるべきである」と結論しているが、その具体的方法、道案内は東洋人が買つて出るべきである。

## むすび

五四年間、私は世界を回って、東洋独得の生物学的、生理学的教育法をひろめた。それは

第一、肉体の平和（絶対健康、不老長寿、息災安寧、経済安定）を万人が、自分のために、自分の力で、ゼツタイ二人人によらず確立し、自らコントロールして楽しい長い一生を送る最も簡易で、実用的な、ダレでもドコでもスグ実生活できる法である。

第二、それは自然に生物学的、生理学的に万人の判断力を高め、スベテの思想と行動と技術に最後の審判を与える最高の判断力に万人を達せしめる法である。

以上は「宇宙の秩序」の確認と「無双原理」の体得を内容としている。宇宙の秩序と無双原理は数千年の年月とともに古色蒼然となり、ミイラ、偶像、タブー、迷信、空虚な概念と化した神、道、大義、生命の超越的意志の新訳現代世界版である。前者は「無常の恒常性」を教え、後者は万有の無常の不断転換のメカニズムを教える。

今や、全世界にこの生物学的、生理学的新教育法を実生活に一応とり入れた人は百万人を超えている。

今は、もう多くの日本人が出かけるべき時である。

生物学的、生理学的教育の技術的問題（教授法）と宇宙の秩序、無双原理の形而上学的、形而下学的教授（精神、思考力、判断力の生物学的、生理学的鍛錬）の詳細については、数十冊の大著を物しなくてはならない。しかし、この生物学的生理学的教育法は「不立文字」であるから、少なくとも十日間厳格に実行してみない限り全く理解できない。

最後にふり返って私の七四歳までの歩みを思うと、私は最大の幸福に恵まれたコトを感謝するばかりである。私の幸運は人生の最大の不幸から始まった。若き父の失踪、若き母の死、全ての弟妹の死、十六歳よりの結核、大咯血……そして世界各地、コトニ西洋文明国における全人類の四大苦——生活、病氣、老化、死——の大津波から来た。つまり、若きキリストが病める者、悩める者を救うコトから、カレの教えをひろめる可能性をもつたように、私もこの癒しをひろめたのが当たつたのである。その意外な成功は、全く二元論と形式論理学を唯一の根拠とする科学に依存する西洋医学自らがツイニ、ガン、精神病、心臓病、アレルギー性諸疾患に対して全く無為無能であることを医学自らも欧米社会も

公認したために実現した。キリストやヒポクラテス時代からの不治の病は未だに不治である。

(感冒、リユーマチ、ゼンソク、ライ病、ハゲ……)。その上、西洋医学が造り出した医原病が無数にある。そのために私の東洋の自然医学、根治療法が燎原の火の如くひろまったのである。

### ■ 結論

東洋、日本精神の世界観は万有論理学に結晶している。それは二元化性一元論である。それは現象(宇宙万有)を陰陽の二大カテゴリーに区別し、その陰陽の相剋、対立を相補性に転換し、そのメカニズムとエネルギーをコントロールするコトによって陰を転じて陽とし、陰陽を合せて一とし、全てを転換する法を発見した。(陰↑陽。陰陽↑)。この陰陽とその対立相剋、相引き相衝く、作用反作用の可能性の源泉に宇宙の秩序を発見した。正—反—合でなく、1↓2↓3の形である。

実生活において、この世界観は全ての現象を無限不断の転換の過程と見る。しかしその転換のメカニズムを把握しているから、全ての転換を自分の好む方向にむけることが出来る。だから、つまりスベテノ分裂、相剋、闘争を相補性にする方法であるから、一切を肯定し、何モノをも否定排斥放棄しない。生活や人生はこの転換の技術のたのしい習練場である。したがって、全てを抱擁する。絶対に一物一事をも排斥しない。むしろ反対に困難や危険、苦悩や悲嘆、罪

悪や無知こそ、より大きい幸せ、より大きい喜び、より大なる安定に転換されるオモシロイあそびになる。

この意味において、我々は一切を甘受する。だから我々は悪や病苦や、野蛮人や精神病者をも歓迎する。平和のように戦争をも拒否しない。我々は孤高や隠棲をとらない。生のように死をも恐れない。美のように醜怪をも愛する。こんな世界観がなかったら、人は世界が一つ、宇宙も一つ、生命も一つ、社会も一つ、地球も一つ

——という世界一家、人間ミナ一家という平和の思想を理解するコトはできない。

こんな平和な思想を生み出す人間、その人間を生み出す食物、「和」の正食を数千年、数万年前の神話時代に発見した祖先をもった我々は幸せである。絢爛壮大きわまりなき科学文明を作り上げ、同時に空前の殺人の兇器や狂人をうみ出した精神錯乱におちいった科学文明(ハイトラーの言)の大きな不幸のモトである食生活を思うと、全く東洋の存在は奇跡である。

東洋が生み出した人間の五大宗教の母胎である世界観は、日夜あらゆる汚物、毒物、残骸を受け入れながら、それを紺碧の水とし、無数の銀鱗とし、フシギナ紅白の珊瑚樹とし、寶石のごとき単細胞、フクザツきわまりなき多細胞の植物、動物——つまり生命という宇宙最大の奇跡に転換する大海のようなモノである。大海原は生命の創造者である。東洋の古い世界観は、現象論、実体論、本質論の如き二元論を一切、

統一原理で説明する。その実行は、私の如き無名無学非才、無産の徒がワズカ五四年間幼稚きわまる独学の語学で説きまわるだけでも、健康と幸福、自由と正義の道として広く欧米に至るところで歓迎されたほど簡素なものである。

全人類は平和を切望している。しかも、何人もその平和の原理と技術を知らない。

今こそ、東洋五千年の歴史をもつ世界観、「鼓腹撃壤帝力我において何かあらん」、「平らげく安らげく民をして暇あらしむる」政治の要諦、「修身、齊家、治国平天下」の実生活教育法、万人が、イツ、ドコでも実行出来る「和」の正食法、それより以上の簡単な平和への脱出路のない東洋古来の生物学的、生理学的教育法を全日本の教育者が一致協同、まず身をもって検討され、無学孤立の私が五四年間、古稀を超えるまで、世界各地にひろめた「和」の正食道の欠点を改正され、完璧なモノとされ、地上はじめ、恒久平和への道を世界に宣布されんコトを切望する。

■付記——私の教育法は、スベテノ従来の教育法を否定する。従来の教育は無用なバカリでなく、有害だった。その証拠に教育のある国ほど犯罪や病気や不幸が多い。犬やスズメは学校教育はもたない。しかしカレラの子供には非行もヌスミも、ウソも病気もない。——私は全く新しい教育法を主張する。ソレはまずサムサとヒモジサを与えるコトから始まる意志の教育である。

## 日本の自然を守れ

# 松枯れは砂漠化の前兆

果たしてセンチユウのせいなのか？

福岡正信

### 原因説に多くの疑問

日本列島の松枯れは、ここ数年の間に激化して、惨状は目をおおわしめるものがある。

もちろん、松枯れの原因や対策については、関係機関の研究も多く、万全を期しているはずである。

しかし、松枯れが食い止められる見込みはほとんどなく、その根本的原因についても、疑問の余地がないとはいえない。

今松枯れの原因については、マダラカミキリ虫が松に産卵するために新梢に飛来して松の枝を食害す

る際、その体中に潜伏している材線虫(ネマトーダ)が松の体内に移動して急激に増殖し、短時日(約20日)の間に松を枯死せしめるものとする説が支配的である。国では、この線虫説に従ってこの3カ年、特別立法で全国の山林にカミキリ虫駆除用のスミチオン剤を6月に空中散布して防止に努めているが、松枯れ現象は停止せず、ますます猛威をふるっている。このままでは日本の松の潰滅は時間の問題と思われる。

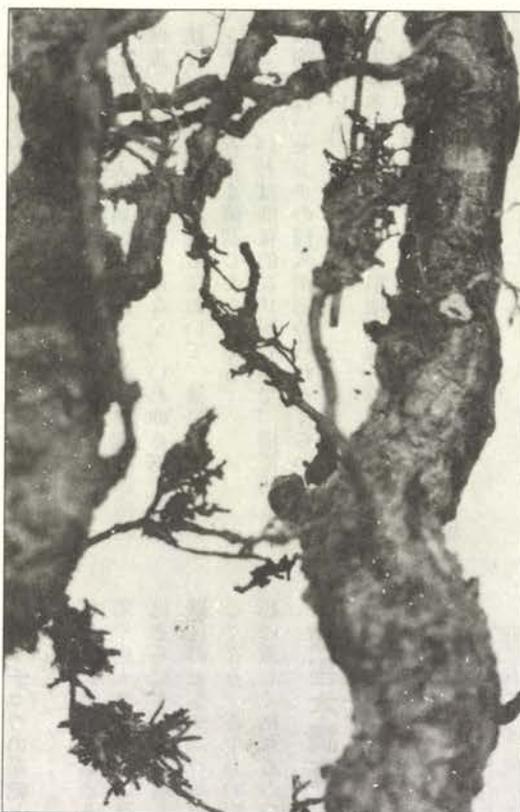
関係機関を信頼して傍観者であった私も、ついにたたまれない気になり、ささやかな調査をしてみた。

何らかの参考になれば幸いである。

### センチユウ侵入機構のナゾ

過去数十年間、松枯れはクイムシによるとされていたのが、昭和四十五年に九州熊本林業試験場の徳重、清原氏によって、松枯れはセンチユウによってひき起こされるとの新説が出され、一挙に解決するかのようになされた。

しかし、センチユウ説が出たときから今もナゾとして残るのは、センチユウを接種すると松は枯れるが、どのようにセンチユウが松の木質部に侵入し、



▲細根が消失し、太い根も腐っている。

▲健全な松の根

第一表 供試材の健全度と腐朽菌（黒変菌）の有無

A区（16年生黒松、9月13日調査）

	健全松	1~3分枯れ	4~7分	8~10分	計
供試本数	38本	18本	12本	32本	100本
健全度	26 (68%)	9 (59%)	1 (8%)	1 (3%)	37 (29%)
黒変菌	15 (39)	15 (66)	12 (100)	31 (96)	73 (70)
センチユウ	0 (0)	2 (11)	8 (66)	18 (56)	28 (30)
	2※				

※皮部より検出

B区（16年生黒松、10月8日調査）

	健全松	1~3分枯れ	4~7分	8~10分	計
供試本数	5本	17本	15本	22本	59本
健全度	5 (100%)	11 (64%)	2 (13%)	0 (0%)	18 (30%)
黒変菌	0 (0)	4 (30)	11 (73)	22 (100)	37 (69)
センチユウ	0 (0)	3 (17)	9 (60)	20 (91)	30 (52)

(注) 表中の数字はすべて供試本数の内数を示す。健全度は松ヤニの浸出で判断した。しかし、検鏡してみると黒変菌などを発見した。( )内は試供本数に対する割合。

何を食べて繁殖するのか、そのメカニズムがまだに解明できない点である。特にセンチユウが侵入してから十日間ほどがナゾであるということは、林野庁の伊藤氏の書に明記されており、また、私は一昨春秋、その跡について研究しておられる真宮氏及び清原氏と面談して、いまだにそのナゾが残ることを直接確かめることができた。

問題は既往の研究で、虫は一日で一メートル上下移動し、十日もすれば数メートルの木の全身にはびこる状況が図示されている。

しかし、侵入経過は即日法で、直接検鏡〔顕微鏡検査〕確認された事実ではなく、いわゆる据え置き法で、供試材料を放置しておいて、後に誘出法でセンチュウの存在を確認したのである。

これは、いわば間接的な状況判断で、清原氏も直接的には一センチの侵入が認められるくらいだといわれている。

生体木材や殺菌木材を培地（飼料源）としても、センチュウが増殖しないことからみても、センチュウ侵入の根拠には、なお疑問の余地があると思われる。

### センチュウの食餌源のナゾ

一般にセンチュウは、糸状菌を食べて繁殖するが、マツノザイセンチュウは何を食べて繁殖しているのか、がまだ不鮮明といわねばならない。林野庁の研究室では、センチュウは、最初木材の仮導管の柔細胞を食べて生きるようだと言明しておられたが、まだ確証は得られていない。同小林氏らの報告誌では、健全松の材中にセンチュウのえさになるベスタロチア、ボトリチス、ペニシリウムなどがすでに侵入している、センチュウのえさになる可能性があるといわれているが、私が純粋分離を試みた結果では、真に健全な松材の中には無菌状態であった。すなわちセンチュウが健全な松材中に侵入しても、短期間に激増するに必要な飼料源はみつからなかった。

第2表 センチュウの人工接種試験結果

供試樹	センチュウ接種			無接種	
	本数	異状	枯死	本数	枯死
30年生 赤松 (自然林)	5	2	5	5	5
15年生 〃 (人工林)	10	0	10	10	8
5年生 黒松 (庭木)	5	0	0	5	0
3~4年生 苗木 (山掘り)	100	50	100	—	—
16年生 赤松 (人工林)	10	1	10	10	8
6年生 黒松 (庭木)	20	0	—	20	0

〔注〕センチュウ接種は53年9月  
表中の「異状」は2ヵ月後、「枯死」は1年後の  
症状をさす。

第3表 センチュウの自然接種試験結果

被害木埋設区	網被覆	5本	枯死(1年後)	0本
	無	5本	枯死(〃)	1本
被害木無埋設区 (2~5区隔離区)	無	10本以上	〃	2本

### 被害木調査

センチュウの系統と寄生力のナゾ  
最近、マツノザイセンチュウに種々の系統があり、寄生力に強弱があるといわれた。京都林業試験場や京大では寄生の強弱の二系統を、九州の清原氏はさらに多数の系統を検出されていた。こうなると既往のセンチュウ接種の成績も、再検討せねばならなくなる。寄生力の弱いセンチュウしかない所でも、松は激しく枯れるのである。

第4表 松枯れに關与する糸状菌

分類	菌名	菌名	研究者	病原性		
木腐菌類	子の青変菌	1セシトシスチオ	イフスマイナー	西門、山内	寄生能力無	
		2	ビスエ			
		3	コエルレア			
		4				
	菌類	⑤セシトシスチオ	フルリアンヌラタ	青島	寄生力調査中	
		⑥	ミニリフォルミス			
		⑦	長首			
	不完全菌	⑧レプトグラヒウム	ジャポニカ	青島	寄生力調査中	
		⑨	S P			
		⑩	S P			
	根腐病	れ根病腐	⑪アルタナリア	ビスス		二次寄生菌 二次寄生腐菌
			⑫無胞子菌	S P		
			⑬ディプロディア	マクロフォーマ		
			⑭ベスタロチア、ボトリチス、青カビ菌等			
	根腐病	れ根病腐	⑮セノコクム	グラミフォーラ		菌根菌腐菌 根腐れ菌
			⑯黒色菌			

備考：①〇印5~12は日本での記録がなく、外材から伝播、侵入したものと思われる。  
②5~12の菌の活物寄生能力は弱い、なお検討中である。  
③S Pは一系統の意。

私は五十三年夏、愛媛県の伊予市内と松山市周辺の約百カ所の樹齢二十〜三十年生の枯れ松百本と、多数の若齢木の各部の切片を、採取直後、検鏡により、また営林局で行っているような誘水法によって多少のセンチュウを検出できたが、その成績は予想以上に不ぞろいであつたことに疑問を持ち、次の調査をした。

### 昭和五十三年〜五十四年の調査成績

場所 伊予市大平堂ヶ谷。十六年生赤黒松林、約四十アール。この地域は、昨年、三十年生松に松枯れが発生し始めた所に隣接した所で、当年は急激に

松枯れが起きた所である。

材料 A 地区百本、B 地区六十本を伐採し、外見上健全なものと、わずかに先端の枝葉が枯れ始めたもの（一〜三分枯れ）、黄変萎凋し始めたもの（四〜六分枯れ）、褐変枯死直前のもの（七〜十分枯れ）に分類して、各根元、中央部、枝梢部の三カ所から材料を取り、検査した。

方法 供試材の健全度を樹脂（松ヤニ）の浸出有無で計り、腐朽菌の病斑と、センチュウの有無を誘出法で調べた。その結果は第一表と第二表の通りである。

考察 ① 外観上、まだ緑色を保っている健全木と

みられるものの三〇%の木で、すでに樹脂の浸出がみられず、またその四〇%の木には腐朽菌がすでに侵入していた。また五%の木からセンチュウが検出されたが、これは皮つきのままの材料を用いた場合で、外皮部をとり除いて再検査してみると、センチュウは検出できなかった。要するに、一見健全とみえる松の中で、三〇〜四〇%がすでに生理的に異常をきたし、腐朽菌の侵入しているものがあつたといふことである。

② 松ヤニがなくなり、樹勢が低下するに従つて、腐朽菌の被害率は増大している。

③ センチュウは、半枯れ以上の木から多く検出さ

# 冷夏にも負けず

## 松枯れ病 相変わらず猛威

昨年の冷夏のため大躍に減ると期待されていた松くい虫被害が、相変わらず猛威を振るっていることが、林野庁の調べでわかつた。あまりの猛威に同庁の対策も「お手あげ」の状態、県によっては独自の防除作戦に乗り出すところまでできている。社寺など多所旧跡や個人の庭の名木への被害もふえており、昨年結成された「日本松の緑を守る会」（会長、稲山

嘉鏡経団連会長）が五月八日から奈良市でわが国初の「松枯れシンポジウム」をふくめた第一回の全国大会を開くなど、松くい虫被害への関心が高まっている。

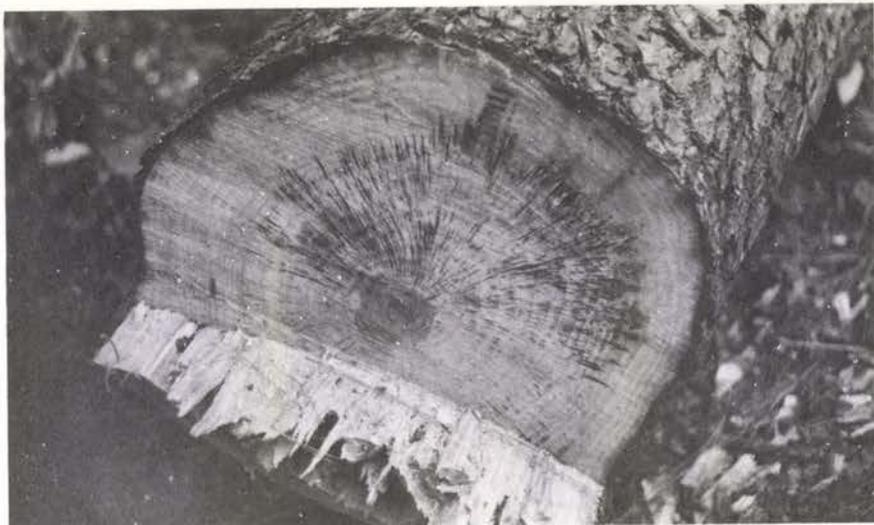
松くい虫被害は四十七年ごろから目立ちはじめ、林野庁でも五十二年に成立した「松くい虫防除特別措置法」をもとに本格的な対策に乗り出しているが、五十三年から五十四年の被害状況は、

域は飛躍的にふえ、五十四年度末の統計では、北海道と青森、秋田、長野の三県を除く全国の松林で計六十二万杉に及んでいる。林野庁ではいま五十五年度の被害状況を集計中だが、九月末現在のまるとめだけでも、枯れた松は約百万立方尺、五十三、四年の同期に比べると、一割程度の減となつているものの、本格的な対策に乗り出した五十二年の被害約八十万立方尺をすでに上回り、猛威が衰えていないことを示している。

これに対し、林野庁や国の補助を受けた都府県が昨年行った防除のための事業総額は約八十八億円のほかが、薬剤散布は約十四万杉にとどまっている。枯れた松の焼却や薬剤による伝染予防処分も約五十一万立方尺で、九月末までに判明した被害の約半分。被害の多い都府県では、独自の予算による防除計画をたてているところが多い。愛知県が昨秋から今春にかけて、枯れた松を全部切り出して焼却する作戦を開始したのをはじめ、神奈川県、千葉県などでも、昨年末で和歌山、三重、奈良、兵庫の松がほとんど枯れたこともあり、同会では同県で第一回全国大会の開催を決めた。

▲朝日新聞 (56. 4. 26) の記事

◀ 黒線菌がついた松



れたが、腐朽菌の被害率より少なく、腐朽菌がない木は、センチュウが単独でいることはまずない状態であった。

④以上の状況から判断すると、松枯れの最初の徴候は樹脂浸出停止であり、センチュウや菌の侵入前はこの異変が起きていない。次に腐朽菌の侵入、センチュウの寄生と続くものと考察される。

### 接種試験

#### ①人工接種

方法||営林局で実施している方法に準じ、大木は五カ所、苗木は一カ所、数千匹以上のセンチュウを接種した。

結果||接種木は外見上健全なものを選定したのであるが、試験地の木は、一カ年で急激に異変をきたし、標準区のものも枯死したため、センチュウ接種による枯死かどうか不明に終わった。山掘り苗木も同様、明らかな結果を得なかった。

根が健全で、旺盛な生育をしている山畑の庭木に接種した場合は、異変が全く起こらないことから、センチュウは真に健全な松には侵入しないものと考えられた。

#### ②自然接種

枯死材に侵入加害、越冬しているキクイムシやカミキリムシが翌春、被害木から脱出して松に飛来し、食害、産卵する時にセンチュウが媒介されて侵入することを確かめるために、次の試験をした。

方法||山畑にある五年生の庭松の間に、松枯れ材(センチュウと腐朽菌のいる材)の大木(径四十〜六十センチ)を半埋没し、その上からナイロン網で

被覆した。

結果||枯死が予想された網被覆の中の松は枯れず、無被覆区の二本が枯れた。この二本には、腐朽菌とセンチュウの寄生が認められたが、根の腐朽も激しく、枯死の第一原因が根にあることをうかがわせた。

小試験ではあるが、枯死木材が松枯れに関係することがわかった。しかし、カミキリムシがセンチュウを媒介して松を枯らすということは実証できなかった。

### 木材腐朽菌

センチュウの調査をしてみる時、衰弱した木や、枯死木を伐採して調べると、ほとんどの木に腐朽菌が蔓延している。すなわち、枯死前にすでに木の三分の一〜半分以上の部分が腐朽菌に侵されており、伐採直後の切り口には青黒色の放射状、または類似の斑紋がみられるのが普通である。

その病徴は、松の葉が赤変、褐変するまで外観的には異常がなく、ただ木材の材質部に病徴が現われるすなわち、材質部が糸状菌に侵されて異変し、切り口では放射状の斑紋となり、板材にすると長い流動形の青変材となる。材質はきわめて軟弱となり、建築材としての価値がほとんどない点は、古くからあった青変材とは趣きが異なっている。

なお、切り口の腐朽斑が放射状になるのは、樹脂導管が放射状になっていて、黒変菌がこの部分に集中的に寄生しているからである。また、この樹脂導管に糸状菌を食べるセンチュウが集中してみられるのも当然であろう。

今まで、マツノザイセンチュウが樹脂導管に充満

## カミキリ虫と松枯れの関係の実験 (昭和55年)

◀カミキリ虫が飛来する前に、山林の松(十六年生)十本に、ポリエチレンの網をかけた。(松は、一見、地上部は健全でも根部に黒線菌が付着したものを選んだ)



◀半年から一年後、半数の松は枯死していた。



## ▼関係がないことが証明された

◀健全な庭松十本にポリ網をかけ、その中に枯れ松材やカミキリ虫を放し、自然接種を試みたが、松に異常は起きなかった。

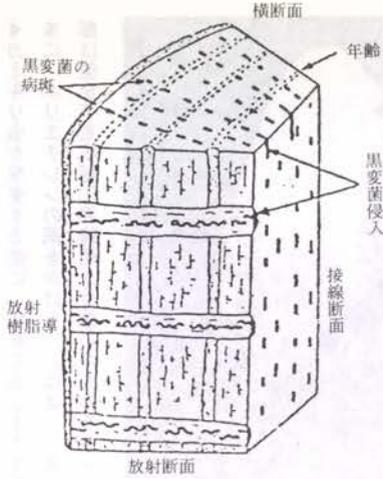


して繁殖するため、水分の上昇が阻止されて、松がしおれるといわれているが、これは腐朽菌が先行して、樹脂導管が破壊され、このカビを好餌として食べるセンチュウが、後から侵入し、寄生したと考えるのが妥当ではなからうか。

### 腐朽菌の分離

前述のように、松枯れ地帯では、まだ健全木と思われる木において、すでに生理的異常があり、また材の切り口に黒変菌等がみられることから、腐朽菌がセンチュウのえさとして松枯れに関与するともに、直接松枯れをひき起こすことも考えられたので、松枯れに関与すると思われる菌を分離した。

方法 枯死直前または直後の木材の幹または枝及び根を採取し、その心材部及び辺材部から、主とし



▶ 松材の組織中に黒変菌が侵入する

てタマネギ煎汁寒天培養基を用い、純粹分離し、皮部や葉枝の表面部から分離されたものは省いた。

なお、細菌類や放射菌、キノコ類は直接松枯れを起す可能性がないとみえるので捨て、糸状菌のみを分離し、接種試験を行い、寄生能力を持つ可能性のあるものを重点的に調べた。

その結果は、第四表の通りで、計十六種の糸状菌を分離できた。

### 病原菌

木材の腐朽菌として古くから知られる西門、山内両氏による青変菌類三系統の他に、日本では発表されていない菌が数多く分離されたので、まだ十分な調査ができていないが、これらの菌の中に寄生力の強いものがあるのではないかと追究中である。

ただ、従来の青変菌による被害木材と比べ、これらの菌による被害木は、その病徴に相異があり、特に材質を破壊することがはなはだしく、軟化して建築材とならないことから、病名を区別しておく方がよいと思われるので、一応レプトグラヒウム系ものを黒斑菌（病斑は旭状放射斑）アルタナリア等によるものを黒変菌（線状放射斑）としておく。

### 腐朽菌の種類

木材から腐朽菌を分離してみると、古くから知られていた青変菌三種の他に、今までに日本で報告されていない数多くの菌が検出された。

青変菌類の中に二、三種類があり、第四表の中の⑦は、子囊殻の首がぐるぐる首のように長く一、二ミリもあり、これらの寄生力についても検討の余地が

あり、接種して観察中である。

黒斑菌類の中にも未調査の系統のものが数系統あり、寄生力について検討中である。黒変菌類の中では、アルタナリア菌と無胞子菌の一種が、松枯れと関係が深いようにみえる。

### “黒線菌”に注目

黒変菌の一種、アルタナリアは腐朽部の菌子や胞子から容易に分離培養ができる。ナシのкокハシ病、野菜やカンシヨのкокテン病と類似のものであるが、胞子の大きさや寄生性からみて、別種のものと考えられるので、一応アルタナリア・ピヌスとし、和名を黒変菌としておくが、なおよく検討せねばならない。

松の腐朽菌としては、西門、山内氏による青変菌があり、病徴は似ているが、菌はセラストメラでマツクイムシの被害木から黒変菌同様に検出され、混生することも多い。

しかし、青変菌よりは黒変菌が先行しているように見えたので、くわしい調査はしなかったが、健全木に対する寄生力は少ないものと思える。

健全な松に菌を接種すると、傷口はただちに松脂（松ヤニ）が充満し、黒変菌の侵入を許すようにはみえなかったが、一カ月後には数センチの範囲に油浸状の斑紋ができて、わずかではあるが胞子の着生をみた。また、根部では外皮が黒変、コルク化していく。

本菌の寄生能力は活物寄生的には強いものではないが、衰弱木ではかなり急速に進展して、松を枯死に導くこともあるのではなからうか。いわゆる任意

寄生菌特有の性質を持ち、場合によっては恐ろしい病原菌となる危険性を持つ不確定性黒変病といえるようである。

現在のところでは、後記の根腐れが先行して生理的に異常となり、限界がくると、マツクイムシやセンチュウ、黒変菌などの集中攻撃を受け、夏の乾燥時に松がトン死することになると思われる。

#### 菌の侵入部位

この腐朽菌の侵入部分を知るため、木材腐朽菌の病斑が立ち木のどの部分に多いかを知らうと、松を玉切りして調べた。

供試本数八十二本中、病斑玉数を調べると元玉六十五本（うち二十五本下部にのみ有斑）、中玉五十四本（うち十四本の中部にのみ有斑）、先玉四十四本（うち四本が先端のみ有斑）という結果だった。

元玉に病斑が多いことは、菌が下部または根から侵入したことをうかがわせる。

#### 菌の接種試験（黒斑菌、黒変菌類）

寄生力を知るため、昭和五十三年九月から十五年生山林立木と五年生庭木および鉢植え苗（二、三年生）に各菌二、三本ずつ接種試験をした。その方法は立ち木には打ち抜き器で一本五カ所に深さ一、二センチの穴をあけ、苗木は傷をつけ、培養菌糸と胞子を接種した。

#### 結果

立ち木と苗木鉢苗の場合は、多少病斑を形成するものがあつたが、半年後、松の異状または枯死する

ものはなかった。ところが、翌年の夏には急変してほとんどが枯死したが、その枯死は直接、菌によるものかどうかが、疑問にみえる枯れ方であつた。強剛な庭松の場合は、一カ年後も全く異常がないことから、これらの菌の活物寄生力は弱いが、生理的障害木には不確実病原菌に転化するものと考えられる。

#### ネグサレ病（菌根破壊菌）について

マツクイムシ被害樹の根を調べてみると、その汚損、腐朽がはなはだしい。すなわち、被害樹の根を掘り起こしてみると、上根がほとんどなく、細根（ひげ根）は褐変、黒変、腐朽して脱落して少ない。また、健全な松の根では共生している菌根菌が、死滅して少ないのが特徴である。太い根も、ところどころ黒変し、次第に炭化し乾枯して根に生氣がない。

すなわち、健全な松は特有の細根を持ち、灰白色の菌根菌がそこに付いてマントを作っているものであるが、この菌套が病原菌の侵入を受けて、褐色から黒変し、さらにコルク化し、炭化して死滅するとともに、被害が次第に細根から太根にまで及ぶものようである。

この根腐れと菌根（マツタケ）破壊は、全国的規模のものと推測される。この約十年ほどの間に急激にマツタケが生えなくなつたが、この菌根の破壊状況からみれば当然のことで、マツタケが生えなくなつたことが松の健全な生育停止を意味し、松枯れの前ぶれ症状であつたと思われるのである。

根腐れの主因と思われるこの黒線菌（仮称）については疑問点の多い菌で、一般の植物としては記載されていない菌である。私も最初は菌根菌に付く共

生菌で、腐植を食べる雑菌の一種と考えたのであるが、次のような点から総合的に判断して、菌根を破壊する害菌としたのである。

本菌は根の先端細根部に発生し繁茂が著しい時は、肉眼で灰黒色の羽毛状物（氣中菌糸）が見える。菌根の中で繁殖すると、菌根は消滅して次第に黒化し、炭化してポロポロ崩れ、脱落しやすくなる。

この菌は胞子を作ることがなくて、氣中菌糸が剛直な黒色の直線状の菌子で、根の周囲にタワシ状の集落をつくる。菌糸のところどころに小さな不整形のコブ状隆起物を作るのが特徴で、また菌糸の基部が渦巻き状に旋回していることがある。またこの菌は、培養基上では繁殖しないが、菌根菌を培養したコロニーの中に混入しておくくと、徐々ではあるが増殖する。

なお、松の菌根部や根部に黒線菌を接種してその寄生力を試しているが、なにごん土壌中のことで観察が困難であり、明瞭でない。ただ水耕培養や砂糖培養した松苗の根に菌を接種すると、根の腐敗、枯死が早くなる。

とにかく、黒線菌によつて、どの程度松の枯死、あるいは衰弱速度が早くなるものかはわからないが、松枯れの原因として、黒線菌が重要な役割を果たしていることは間違いないだろう。本菌は無胞子菌科のセノコッカムの一種で、和名は黒線菌としておく。

#### 黒線菌の接種

黒線菌は分離ができないので、黒線菌の付着した細根を松の根元に埋没して接触伝染をすることがどうかを調べた。その結果、供試本数五本（十五年生木）

のうち二本が一年後に枯死し、十本(幼木)のうち二年後にやや異常をみせたもの五本だった。

供試本数が少ないので判然としないが、二年以降になって根腐れが進行し、三年目には枯れるものが多くなるのではないかと、と観察された。

松根の腐朽して行く速度を知るため、伊予市周辺約百カ所の山林の根を調査してみた。初年度において全く健全と思われた松山の根が、二年目には著しく減少し、黒線菌の発生を見、三年目にはまったく腐朽して、松腐れをひき起こす場合があった。その速度は予想以上に早いと思わねばならないようである。

### ネグサレ病蔓延の原因

従来、問題とされたことがなく、一見、地中の雑菌と思われる黒線菌や黒色菌が、なぜこのように広範囲にわたって同時に発生したのか不明であるが、大気汚染により、松の生理が異常になり、澱粉の生産量が減退したとすれば(米国の説)、根部の澱粉を消費して生長する菌根菌が、衰弱することは当然考えられる。この菌根の衰弱が誘因となり、黒線菌が急激に猛威をふるう結果になったものと思われる。また、黒線菌は乾燥や湿気に耐える力が強く、農薬や大気汚染物質に対する抵抗力も強いようである。半面、松と共生する菌根菌は、環境の変化に対する対応性が弱いことから、環境破壊がこれら地中微生物のバランスを崩し、菌根の崩壊を早めたものと思われる。

高温乾燥が、根腐れを起こしている松の枯死を早めることは明白な事実であるが、土性も大きく関与

するようと思われる。最初大気汚染による酸性の雨で、土壌が酸性になり、根が障害を受けるのではないかと予想したので、調査した結果、予想以上に多くの被害地の土壌は強酸性で、 $\text{pH}$ が $3.2 \sim 4.2$ であった。

土壌を石灰や木灰で中和して、土壌の酸性化と消毒で、松枯れを防止することに一つの望みを待って試験中であるが、根腐れについては黒線菌の純粋培養ができず、マツタケ菌の研究が困難なことに相まって、容易ではない。

(根の腐朽菌として別の黒色菌があるが、これについては省略する)

## 要約

一般に、マツクイムシの害といわれる松枯れは、枝梢部から侵入するザイセンチュウの害といわれているが、その前に地下部の根が著しく腐朽していることを重視せねばならない。

①すなわち、松根には広く腐朽菌の黒線菌が蔓延して、まず菌根菌が破壊されて、マツタケが生えなくなり、細根が黒変、腐朽して消失し、さらに黒色菌の侵入により太根が損壊するに至って松は著しく衰弱する。

②松の異常が、カミキリムシやクイムシ類によって察知される時期になって、これら害虫の産卵が始まり、その食害傷口から黒斑菌や黒変菌等の腐朽菌が侵入する。同時にザイセンチュウも侵入し、これら腐朽菌を食糧として繁殖し、害虫とともに樹脂導管を破壊する。このため松は急激な萎凋症状を呈して、高温、乾燥する夏、トン死するものと考えら

れる。

松枯れは、ザイセンチュウが媒介侵入する前年または二、三年前ころ、すでに根が腐朽し始めており、生理的障害を起こし、樹脂の浸出低下が見られるが、この時期には、まだ外観は、松の葉が緑色を保っており、人間には気付かれない。

③これら根腐れ菌や木材腐朽菌の大部分は、日本在来のものではなく、外材に付着して侵入したと思われる。詳細な研究をしていないので、予断は許されないが、この中の数種が松枯れに重要な関係を持つように見える。(一九七九年渡米して、米国にこれらの菌やセンチュウがいることを確かめた)。

④松枯れに関与する菌類が、急激に蔓延激化するには、①素因として日本の松の抵抗力が弱いこと、②松が菌根植物であり、菌根菌は環境の変化や公害物質によって死滅しやすいこと、③反対に害虫は大気汚染や農薬に強いものが多い。従って、見方によれば大気汚染や農薬が松枯れの引きがねになる誘因といえるわけで、抜本的にはこれらのことも考慮せねばならなくなる。

### ⑤ 防除対策。

① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

要するに、松枯れ現象は日本列島の植物と動物と微生物のバランスの崩壊にもとづく砂漠化の先駆的病状としてとらえるべきものと思われる。

従って、その対策も病虫害駆除を目的とする小面積の応急処置とともに、遠大な抜本的対策の樹立を願うものである。でなければ、私の観察した根の腐朽状況からみて、東京以西の日本の松は、ここ5年以内にはほとんど致命的打撃を受け、日本の自然の急激な崩壊が始まるものと推定されるであろう。

一昨年の七月八月、私はアメリカを訪れ、アメリカでもひどい松枯れの現象に出くわした。カリフォルニア大、カリフォルニア州第一営林局などで、日本とアメリカの松枯れ原因についての差を知らされた。アメリカではマツノサイセンチュウは問題にしていず、「ジェット機（大気汚染）と乾燥による」と話していた。また、私がこの論文中に指摘した黒変菌の存在やセンチュウも、米材の中に確認できた。ただ、アメリカでは大気汚染が原因というだけで、対策研究については手をつけていないし、日本ではセンチュウだけに固執している現状は何としても理解できない。ぜひ専門研究者の積極的な研究を願いたい。

## 雑感

松の赤枯れが自然現象で、自然の摂理にかなうものであるとか、天災であれば放置も許されようが、人災であれば、元の自然まで復元せしめる責任が人間にある。

私は、急造即席の実験を山小屋で行い、ちよつと

松の根の先の微生物界をのぞいてみたが、今さらに一度壊された自然の生態系の復活ということの難しさ、守るとか生かすということの科学的限界、空しさを知らされた思いである。

日本列島の砂漠化は、海に、山に、目には見えないうところすでに始まっており、もはや救いようのないところまで来ているのではないだろうか。

その前兆が、小さな秋、マツタケの喪失であり、急激な松枯れが地中微生物の異変を告げる警告であるとみるべきであろう。

## 日本の自然を守ろう

地球上の微生物界の中で最初の異変は、最も微生物が集中して多く有機的に結びついた高度な生物社会を形成している菌根菌に起こるのが当然であった。起こるべきところに起こったともいえる。松が最強の植物であり得たのは、微生物（菌根）によって最強に守られていたからである。

人類が崩壊する時は、最初の異変が、高度に発達した過密社会の大都会に起こるのであろう。菌根に守られた松は最強（砂漠や砂浜でも生える）の植物であり、菌根と共生しない松は最も弱いデリケートな植物であった。この外生菌根植物の松が壊滅すれば、次は他の内生菌根植物、ヒノキ、スギ、ケヤキ、果樹、稲にまで波及していく危険がないとはいえない気がする。私の取り越し苦労でなければ幸いだが、東京都内には赤松、杉は、すでに一本もない。次は黒松、ケヤキの順で枯れることが予想される。京都の神社や寺の松も今年が防除の最後の機会になるのではないかとさえ思える現状である。

その意味では、松が守れるか、守れないかは、日本の自然が守れるか守れないかの問題につらなる。日本の自然がなくては、日本民族もないのだ。

## 後記

私は、松枯れ防止策についても、これら誘因、遠因に重点をおいた方法で実験を続け、ようやくある程度の成果を得ることができた。しかし、私の主張はまだ学界で認められていないことでもなく、特に防除方法は、簡単な記述では誤用されたり悪用される恐れもあるので、この稿では割愛させていただきます。

（本稿は、日本農業新聞55・1・15、17、22、24、29に掲載の『松枯れはセンチュウのせいではない』を、筆者が改稿したものです。）

■筆者住所／愛媛県伊予市大平二〇一―二、空観自然農法提唱者。著書／『無』3部作（品切れ）、『自然農法わら一本の革命』（柏樹社刊、英文版あり）、『自然農法』（時事通信社刊）

■本誌にのつた筆者の記事

- ・四六号（二七・二）『自然農法と無の哲学』（品切れ）
- ・四四号（一九七・七）『私の農法』（品切れ）
- ・五八号（一九九・二）『日本列島の不吉な前兆？―松くい虫の謎を追って』（350円）
- ・五〇号（一九〇・二）『アメリカの農業と自然を観て』（350円）
- ・五三号（二六二・二）『地中海実バエの侵入を防げ』（350円）
- ・五三号（二六二・二）『崩壊する日本の農業』（450円）

# 妊娠日は予定できる

## 田村いとこの

(田村式計画産児法創始者)

「排卵は、次回月経前12〜16日の間にある」という  
 荻野説が正しいとすれば、不順月経の婦人は妊娠日  
 を予定できないことになる。

しかし私は、昭和十年ごろまでの研究で、次回月  
 経が遅いか早いかかわらず、排卵日も妊娠日も  
 予定できるという、いわゆる「田村式計画産児法」  
 を創始し、日本では、母性衛生学会、日本綜合医学  
 会、家族計画大会等で発表させていただき、また、  
 世界各国の大学や家族計画協会などに論文を送り、  
 パリ大学の医学誌にも掲載されたこともある。

現在では、その利用者も多く、長年妊娠しなかつ  
 た婦人の中にも、これによって妊娠したり、また、  
 不順月経の婦人も、排卵日を予定して、毎月わずか  
 な妊娠日を避けることにより、完全に避妊に成功し  
 ている婦人も多い。

正常な婦人には毎月妊娠するチャンスがある。し  
 かし、正常でない婦人には、春と秋だけしか妊娠し  
 ない婦人もあり、このような婦人は、田村式妊娠法  
 を知らないとい、一生の間に一子も産むことがむずか  
 しい。

正常な婦人は、避妊しないで三カ月も夫婦が同棲

すれば、必ずというように妊娠している。だから、  
 毎年、生まれた子供を殺すというような婦人もある  
 わけである。

また、一回の中絶によって死亡する婦人もある。  
 たとえば、Hさんは三人出産したが、四人目の子供  
 を病院で中絶し、帰宅の直後、大出血で、四畳半の  
 部屋が血でういたという。それから五年間、月経は  
 なく、貧血で青白く、カイコの上り子のように透き  
 通ったような肌をしていたが、ついに死亡したので  
 ある。

次の例は「何も避妊することはない。金さえ持つ  
 ていけば医者が始末をしてくれる」といって、全く  
 避妊しなかつた例であるが、彼女はついに死の一步  
 手前まで行ったことがあり、一命は取りとめたけれ  
 ども、瀕死の状態で長い年月、苦しんだ。

正常な婦人には、各自に基本月経周期があり、そ  
 れによって排卵期はきまつている。また、田村式の  
 「気象による排卵日の移動説」によって、毎月の排  
 卵日も、ほぼ確実に予定できるものである。

「田村式」には、次の二種類の本がある。

一つは、婦人生活社版の「田村式・男児を産む法」  
 で、いま一つは「田村式計画産児法」という自費出  
 版の、田村式原著である。

前者は、田村式のあらましを知るにはよいが、体  
 温表その他の図表が少ない。しかし、やさしく書い  
 てあって、一晩で読める程度の本である。

後者は、体温表も30種類あり、いろいろな図表や  
 統計表なども多く、元・東大病院産婦人科医師の加  
 藤一男博士も、

「世界中に他に類のない本で、産婦人科の医師ある  
 いは助産婦、保健婦にも、このような統計を作成す  
 ることは大変ですし、必ず皆様のご参考材料になる  
 と思います」

と、序文に書いて下さっている。そして最近では、  
 これを参考にしておられる大学の先生方もある。

これらの本は、全国の書店、自然食品店、「すこ  
 やかな子供を育てる会」などで売っていただいでい  
 たが、最近品切れとなり、今、増版準備中である。

東京は、日本C.I.協会  
 大阪は、自然食・福園(梅田一―六一―五)

大王(上六)

世界正食協会(東区大手通二―五―一)

などに残品が少しあるかもしれない。  
 また、お近くの自然食品店にない時は、取り寄せ  
 しよう頼んでいただきたい。

「田村式計画産児法」は、一部千円、送料250円。

次版は千300円。大阪市東成区中本四―一―二七  
 田村式計画産児法普及会 ☎06・9811・2117

5 振替/大阪21546母を守る会)

大森英桜先生の講義テープ(日本C | 協会発行) 新発売!

■食物の陰陽 (60分×2本) ¥2600 送料 ¥240

- 動物、植物の陰陽の見分け方—環境、形態、働きなど、いろいろな要素から陰陽を判断する。
- 『身土不二』と経済の発達
- 現代栄養学とカロリー学説の問題点。
- 生菜、クコ、酵素など、数ある民間療法を無双原理で観る。(付録/風邪の話)

■生物と食物の歴史 (60分×2本) ¥2600 送料 ¥240

- 地球誕生と生物進化の過程
- 環境適応説—人間はどのようにしてできたのか。
- 人間の食べ物とは。—食物が人間を作る話。
- 果物と肉食の害について。
- 食べ物と体、食物が体におよぼす作用について。
- 正食と自由、世界平和について、本当の幸福とは?

■『宇宙の秩序』の解説(60分×2本) ¥2600 送料 ¥240

- 無限の世界とエネルギー。—すべてのものを作った無限のエネルギーとは。
- 人間の源は何か。人間が誕生するまでの宇宙の七段階。
- 宇宙法則の解説と正食の原点—なぜ玄米を食べるのか。
- 現代栄養学と医学の問題点
- 信ずるなかれ、すべてのことを宇宙法則で確かめよ。

※ご注文は、①現金書留または②振替 東京 0-194125にて注文品を明記して、代金と送料を日本C | 協会へ送付ください。

新テープ発売予告

大森英桜先生講義

「子供の病氣

と食養」

★日本C | 協会発売

- 牛乳はなぜいけないのか
- 子供のアレルギーの原因は?
- 玄米児の身長
- 落ち着きのない子、勉強がらみの子の食療法
- 途中から正食に入った子の食事
- 子供のケガ、病気の治し方(カゼ・発熱・下痢・ひきつけ・夜尿症・百日咳・ハシカ・おたふくかぜ・切り傷・虫さされ・鼻血・ヤケド・中耳炎・食あたり)

90分×2本 ¥6,000

6月下旬発売 (送料 ¥240)

自己改造99%への挑戦

メカニック利用の自己コントロール

講座 スーパー・トレーニング & 潜在能力開発講座

- 人間改造システムとしての能力開発法スーパー・トレーニングに加え、その日から精神の安定をはかれるバイオフィードバック装置がついた潜在能力開発講座が新登場。
- バイオフィードバック装置と独自のシステムにより、人体の電気信号系である自律神経系と体性神経系、化学信号系であるホルモン系の働きをコントロールし、あなたの潜在能力を顕現させます。
- 意識の拡大、性格改善、大脳コントロール、精神的緊張からくる病気の解消、学力向上など、玄米正食者必修の精神レベルのプログラムです。

\*案内書はハガキで下記へご請求ください。\*6月28日、7月12日、午後1時より、東京中野サンプラザで会あり。

〒202 東京都保谷市下保谷5-11-22 東保コーポ2-208  
TEL 0424 (21) 1144

A.I.C 東京本部 C係

薬PUの用語解説

Cー(シーアイ)…… Le Centre Ignoramus

〃無知なる者のセンターの意味。無双原理と正食の運動をするセンター。第二次大戦後、桜沢先生が青年教育の家を、M I Maison Ignoramusと命名。このかしい知恵をすて、無知、バカであることに徹底したものが真の幸福を得ることができるといいうわけ。

G・O(ジーオー)…… Georges Oh-sawa (ジョルジュ・オーサワ、英語ならジョージ) 桜沢如一先生の外国でのペンネーム。如一をジョージにあてたもの。

P U(ピーユー)…… Le Principe Unique (ル・プリンシプ・ユニーク) ただ一つの原理、無双原理のこと。宇宙をつらぬく根本法則のこと。

マクロバイオティク…… macrobio-tique(フランス語) 英語ではマクロバイオティクス macrobiotics 形容詞は macrobiotic マクロバイオティク。元の意味は「長生術、長生き法」だが、桜沢先生の提唱による正食法の意味で使われている。宇宙の秩序、法則にのっとりた人生の道のこと。大自然とともに生きる生活法。

陰性・陽性……あらゆる物の性質を二つに分けて、遠心・拡散・寒冷・カリウムの多いものを陰性(▽)と呼び、求心・収縮・暖熱・ナトリウムの多いものを陽性(△)と呼ぶ。

# 地球は秋、収穫の時！新しい種人の芽を育てましょう

- 機関誌「75回転」
- ヨネヒトくらぶ会員制度（無農薬有機玄米食品供給制度）
- 料理、自然医学、ヨガ、姓名学の各教室
- 自然塩の自主流通運動 ●薬害の追放運動
- 農薬と化学肥料を追放し、国内の農業生産自給率を高めましょう。

## ヨネヒト販売員を募集!!

男女各2名 年齢は問いません。ファイトある同志を求む。将来、自然食の店を持ってマクロビオティック運動をともにやっていく意欲ある人、味穂のすべてを開放します。

■問い合わせは、各小売店か事務局へ



## くろぷ味穂 自然食糧センター 事務局

〒173 東京都板橋区向原1-11-5

電話 03 (958) 8645

江古田店 (03-948-5701)、成増店 (03-976-0231)、八王子店 (0426-76-1258)

## 自然のままに…フレッシュなコールドプレス(冷圧法)

- アブラ菜科のからし菜の種子は日本でも昔から高級食用油の原料でした。
- コールドプレスは食用油搾油法としては、最高の技法です。上下の圧力によって熱を加えず、風味がとても豊かです。
- からし菜の種は生のまま搾れるので、貴重な栄養成分を豊富に含んでいるほか、天ぷらなどにしても腰が強く、とても経済的です。

植物性食用油  
**からし菜油**  
生じめ



825g 1000円

- からし菜油にはビタミンEがたっぷり (35mg%) です。また、からし菜油独自の天然の酸化防止成分が過酸化脂質の発生を防止してくれるので安心して召し上げれます。
- サラダに、天ぷらに、あらゆる食用にどうぞ！



株式会社 **法輪 M**

☎03 (447) 2260

東京都港区高輪1-23-34 芝高輪ハイイツ

## ふたたびお目にかかれた“昔の味”

ミネラルの多い自然の塩  
精製しない粗塩の味

## 「赤穂の天塩」



塩の生命は海水が自然にもつ成分ミネラル等の独特のバランスにあります。塩の微量成分は食品の仕上りや味に決定的な役割りを果たします。

- ◆昔から塩が作られていた塩田は、昭和46年全面廃止され、工場大量生産方式（イオン交換膜製塩法）にかわりました。
- ◆その結果、塩は、NaCl 99%以上の精製されたものになりました。
- ◆自然塩復活を願う日本CIはじめ各界のご協力により生れた「赤穂の天塩」は、食生活の原点としての灯をともしつづけております。

総販売元 株式会社 **自然塩普及協会**

東京都新宿区百人町2丁目24番6号 〒160

☎ 03・364・2721

# 美術印刷一般製造販売



## 有限会社 東樹社

代表取締役 野ヶ山量尉知

東京都台東区浅草橋4丁目16番8号〒111  
電話 東京 (862) 代表 1 6 2 7 ~ 9 番

新発売

### もちこ

ねってすぐもちになる、今話題の商品！  
500g ¥850  
発売元/オーサワジャパン株式会社

### セイタン

純植物性蛋白・伝統の純正食品  
ビン入 180g ¥350  
袋入 100g ¥350

## 丸島醤油株式会社

〒761-44 香川県小豆島内海町 ☎08798-2-2101

### 大森英桜先生

#### PU正食医学食養療法講習会

◆  
毎月中旬の土曜と日曜の二日間定期開講  
詳細は電話でお問合せください。

#### 大森英桜先生特別個人指導

別室で大森先生から1対1で懇切な指導が受けられます。日時は上記講習会当日の午前11時までと午後6時から。申込は毎月10日まで電話で受付。

#### 玄米食養実修道場

◎いつでも入所できる。◎期間は1泊2日。または2泊3日。このわずかな日時で却病造健、心身強化、開運自在のPU食養法の要訣秘儀と、合気魁体の秘法、瞬間活法を会得せしめる。  
詳細は電話で問合せください。

### ・PU・食養・料理教室

いつでも個人指導が受けられる

- ◎疾患別食養療法講座
- ◎体質と疾患を見分けるPU体型学
- ◎病気の原因とコンペーセッションの法則
- ◎体質、疾患別主食、副食摂取法
- ◎体質、疾患別食養料理法（実習を含む）
- ◎無形の食物の意義とその摂取法
- ◎手当法の実習
- ◎身心強化PU生活法

詳細は電話で問合せ下さい。案内書進呈。

### 輝く将来…指導者育成

志操堅固な

### 男女内弟子募集

心身統一合気道・国際男女青少年心身鍛練センター

## 研心館本部PU正食学園

大阪市阿倍野区西田辺町2-2-29 (〒545) 電話06・691・1590

〈兵庫〉

神戸ヘルスフーズ ☎658 神戸市東灘区住吉町室の内237 井上ビル (国鉄住吉駅北100m) ☎078-822-2600 \*10~19 \*㊤
\*食養相談、毎月第2土曜美容相談
薩風 ☎659 兵庫県芦屋市船戸町5番街 ☎0797-31-4141 \*10~18 \*㊤ \*食と生活研究会 (毎月)
ヤス美健康サロン ☎666 兵庫県川西市栄町1-13 ☎0727-57-5327 \*11~15 \*㊤㊤祭 \*自然正食品、化粧品、健康器販売

〈山陽〉

山陽自然食品センター 弓之町店 ☎700 岡山市弓之町1320 ☎0862-25-8722 三門店 岡山市三門西町1-8 ☎0862-53-7710 \*9~19半 \*㊤
求道会道場 ☎709-37 岡山県久米郡中央町大井和西1499 (繁田湾徳) ☎08686-8-0730 \*9~21 \*無 \*七号食実修道場、求道一永遠の幸福を求めて、自然農法、陰陽五行、PU村建設
ビバ健康ハウス本部 ☎733 広島市榎町2-23 ☎0822-93-8321代 \*9~19 \*東洋医学研究会 (毎月第3日曜)、自然食料理教室 (毎月第3木曜)、毎年夏休みに入って最初の金・土・日曜 (2泊3日) 健康合宿
皆実C1 ☎734 広島市皆実町4-1-12 ☎0822-55-2846 \*平賀佐和子、毎月第4土曜、例会 (料理講習、PU勉強会)
明治製粉南 ☎726 広島県府中市中町536 \*小川清 \*めん類製造
人間医学社府中支局健康医学社広島総特約店 ☎726 府中市下辻町 ☎0847-41-7668 \*特に定めず \*食品、ライスビネガー、リマ化粧品、書籍、真空浄血治療器、正食浄血指導
西日本自然食品センター ☎722 広島県尾道市新浜1-6-21国道2号線沿 ☎0848-22-5577 \*9~18 \*㊤祝 \*自然食品販売普及活動、PU研究会「自然食品会館」(純正食品マルシマ)
岩国自然食品センター ☎740 山口県岩国市今津町1-5-9 ☎0827-21-5975 \*9~18 \*㊤祝 \*正食研究会 (月1回)
鶴島食品 ☎747 山口県防府市南松崎町5-4 \*0835-22-0347 \*例年1月と8月中は休業 \*「鶴島通信」(無料配布) にて催しものを予告します。
山口健康生活センター ☎753 山口市大市町2-2 ☎08392-3-1842 \*10~18 \*㊤ \*健康教室、料理教室 (出張に応ず) 西日本健康自然食品協会

〈四国〉

アズマヤ ☎760 香川県高松市紺屋町3-6 ☎0878-21-7665 \*9~21
愛媛純正食品センター ☎790 愛媛県松山市湯渡町10-22 ☎0899-43-6464 (松山東高東300m) \*8~20 \*4㊤ \*菅本フジ子、健康相談、料理講習 (毎火曜) 東洋医学会 (第3日曜)
いで自然食品 ☎794 愛媛県今治市高橋甲610-4 ☎0898-23-7832 \*7半~19半 \*第2・4㊤ \*配達有り、健康相談、玄米試食会、自家製みそ、漬物販売

〈福岡・大分・長崎〉

八幡自然食品センター ☎805 福岡県北九州市八幡西区八千代町6-22 ☎093-621-4184 \*9半~18 \*1・3㊤ \*料理講習 (月1回) 健康相談 (月1~2回) 勉強会 (月1回)
漢方専門あまのは ☎816 福岡県大野城市栄町2-39-1 ☎092-581-4916 \*9~19 \*㊤
サニー健康食品 ☎813 福岡市東区千早5-10-5 ☎092-681-0883 \*10~19 \*㊤ \*食品、洗剤、書籍、器具
未来を考える会・販売部 ☎879-02 大分県宇佐市南敷田250 本多公子方 ☎09783-2-0808 \*特に定めず \*正食料理教室、自然農法研究会、健康・美容相談
南徳陽書店 ☎870-11 大分市田尻453-5 ☎0975-42-1215 \*10~20 \*㊤祝 \*書籍販売、健康食品販売、松山医院長による健康相談及び正食指導

般若日本自然療能研究所 ☎857 長崎県佐世保市京坪町7-6 ☎0956-25-0369

〈熊本・鹿児島〉

\* \*\*十粧 (じっしょう) ナチュラル下通店 ☎860 熊本市下通1-4-8 ☎0963-54-9161 \*10~19 \*第1第3㊤ \*福山敬救、体質別食養相談、オリーブ自然美容法相談 \*1・3㊤
十粧ナチュラル子飼店 ☎860 熊本市東子飼町3-5 ☎0963-43-4043 \*無 \*福山聖乃、体質別食養相談、オリーブ自然美容法
自然食センター松本 ☎861-11 熊本県菊池郡西合志町大字御代志2049 ☎09624-2-1719 \*9~18 \*無
黒田栄子 ☎867 熊本県水俣市古賀町1-2-1 ☎09666-3-0108 \*9半~17半 \*純正食品販売、食事・健康相談、美容相談

あさひ健康自然食品センター ☎895-18 鹿児島県薩摩郡宮之城町舟木4456 (屋地駅前) \*健康自然食品販売、手塚機久郎 (自) 3-0704
天然村山農園 ☎891-44 鹿児島県熊毛郡屋久町高平 ☎0997-4-7-2541 \*21世紀・新宇宙文明へ向けて、天の然らしむ生活法を模索。

〈沖縄〉

自然食品センター陽報 (ようほう) ☎900 那覇市久茂地3-11-5 ☎0988-61-7195 \*9半~19 \*㊤ \*食養相談、正食料理教室、書籍販売、純正食品、リマ化粧品卸・小売
味園 ☎900 那覇市泉崎1-9-11琉球新報社向 ☎0988-66-5366 \*9~19 \*㊤祝 \*自然食品、玄米レストラン、陽報・泉崎店
沖縄陰陽研究会 ☎902 那覇市松山2-23-4 ☎0988-68-6578 \*勉強会 (第4土曜)、座談会 (第2金曜)
正食の店 万然 ☎902 那覇市寄宮156 ☎0988-54-0296 \*11~20 \*㊤ 食養相談、書籍販売、純正食品、リマ化粧品
石嶺純正食品センター ☎902 那覇市首里石嶺町13-121 ☎0988-86-6849、87-3434 \*9半~20 \*㊤祝 \*食養相談、PU勉強会、正食料理研究会、オーサワジャハン食品、C1本

味穂自然食品

☆無農薬有機野菜、農産物、海産物、雑穀類、加工食品、自然化粧品
食養相談、健康相談、美容相談、料理講習

江古田店 ☎176 東京都練馬区栄町20 (江古田商店街) ☎03-948-5701 \*10~20 \*㊤
成増店 ☎175 東京都板橋区赤塚3-21-13 ☎03-976-0231 \*10~20 \*無
八王子店 ☎192-03 八王子市堀の内450 (芝原バス停前) ☎0426-76-1258 \*10~20 \*無
事務局 ☎173 板橋区向原1-11-5 ☎03-958-8645

☆隣接区域配達、地方発送承ります。

味穂自然食糧センター

正食の店・和や ㊟930 富山市中川原17 ㊟0764・25・1448 \* 8  
～20 \* 無  
丸の内薬局 ㊟930 富山市丸の内2-1-1 ㊟0764・24・0891 \* 9～  
19 \* ㊟ \* 漢方相談、健康相談  
福井健康学園 ㊟910 福井市照手1-11-2 ㊟0776・21・3811 \* ヨ  
ガ体操と正食料理で手軽に宿便を出す道場(予定)自然農園、  
植林。自然食品センター(市内)  
楊明堂 ㊟959-21 新潟県北蒲原郡水原町下条町15-5 ㊟02506  
・2・7433 \* 8半～19半 \* 第1・3㊟ \* 毎週金曜日配達あり

<静岡・愛知>

ニホンケンコー社 ㊟438 静岡県磐田市中中央町122-15 磐田商工  
会館前 ㊟05383・2・3016 \* 9半～20 \* ㊟ \* 自然食品・健  
康食品・純正化粧品・書籍・治療器・勉強会(第3日曜日)  
自然食品の店 一福 ㊟448 愛知県刈谷市中山町2-48 ㊟0566・  
23・2719 \* 代小島一夫 \* 10～19 \* ㊟㊟ \* ヨガ教室、薬  
草化粧品、草工芸教室、料理講習、健康相談  
東海健康文化センター ㊟453 名古屋市市中村区則武1-19-3 ㊟  
052・451・4195 \* 8～20 \* 無 \* 正食普及、料理教室、合気  
ヨガ、書道、茶道、華道など文化活動  
天龍健康食品センター ㊟467 名古屋市長徳区瑞穂通り2-45 ㊟  
052・841・0146 \* 9～19 \* ㊟ \* 自然食品、健康食品、化粧  
品。近隣配達可  
愛知陰陽会(長生堂) ㊟485 愛知県小牧市大字寺浦2943 ㊟0568  
・76・2731 \* 9～19 \* ㊟祝 \* 講演会(2カ月に1度位)無  
料食養健康相談、C1書籍、テープ、自然食品、リマ化粧品販  
売  
春日井自然食品センター ㊟486 愛知県春日井市瑞穂通7-1-11  
㊟0568・82・7661 \* 9～20 \* ㊟ \* 食養料理教室(月2回)  
安城自然食品センター ㊟446 安城市今池町3-6-29 ㊟0566・98  
・3136、97・9432 \* 10～18 \* ㊟ \* 純正食品、健康食品、自  
然化粧品、ヨガ教室、無料健康相談  
豊橋自然食品センター ㊟440 豊橋市松葉町3-65市民病院前 ㊟  
0532・54・5876 \* 9～18半 \* ㊟ \* 食品全般、化粧品、健康  
相談  
株東海ヘルス ㊟426 静岡県藤枝市谷稲葉141-1 ㊟0546・44・  
0666(代) \* 9～18 \* ㊟  
豊川店ケンコー社 ㊟442 愛知県豊川市市町大道下17 市町バス  
停留所 ㊟05338・6・5679 \* 10～18 \* ㊟

<岐阜>

岐阜健康自然食品センター ㊟502 岐阜市長良崇福寺町2丁目  
㊟0582・32・0631 \* 9～20 \* ㊟ \* 健康食品、書籍、化粧品  
正食講座、料理教室  
岐阜自然食普及会 ㊟500 岐阜市神田町9名鉄新岐阜百貨店1F  
㊟0582・65・7111 内線319 \* 10～18半 \* ㊟  
柳屋自然食品店 ㊟500 岐阜市織田塚町1-2 ㊟0582・45・9355 \*  
10～20 \* ㊟ \* 無料健康相談

<京都>

京都マクロビオティックセンター ㊟606 京都市左京区高野藤原  
町77 ㊟075・711・4551、721・7191 \* 正食品、料理器具、書籍  
料理講習、折詰弁当(予約制)英語版書籍販売  
京都自然食品センター ㊟604 京都市中京区河原町通夷川角 ㊟  
075・221・7890、231・0348 \* 平日夏季9～18半、冬季9～18  
\* ㊟祝13～18

株エンチーム三丹 ㊟620 福知山市堀内田町1953-2 ㊟0773・22・  
9508 \* 8半～20 \* 不定期の㊟ \* 食品、厨房器具、酵素化  
粧品、天塩、マクロビオティック書籍、その他  
天粒(てんりゅう)マクロビオティックセンター ㊟624 舞鶴市  
北田辺126-16本町バス停留所 ㊟0773・76・7126 \* 9～19 \* 無  
\* 食養相談、自然化粧品、食品書籍取扱い

<大阪>

ヘルスマートムソー ㊟540 大阪市東区大手通2-5-1 ㊟06・945・  
0511 \* 9～19 \* ㊟  
世界正食協会 ㊟540 大阪市東区大手通2-5-1 ㊟06・941・7506  
\* 9～18 \* ㊟ \* 料理教室(毎火・木曜日)定例会(第1日  
曜)  
ムソー食品谷町店 ㊟543 大阪市天王寺区谷町9-28 ㊟06・771・7  
545 \* 10～18半 \* ㊟  
ナチュラル株 ㊟547 大阪府平野区喜連東1-2-10 ㊟06・709・11  
63、1183 \* 9～17 \* ㊟半休㊟ \* 純正食品、製造、卸、小  
売  
研心館本部食養道場 ㊟545 大阪府阿倍野区西田辺町2-2-29 ㊟  
06・691・1590 \* 9～21 \* 無 \* 無双原理研修、食養道場、  
気の研究会、心身統一合気道  
堀江自然食品店 ㊟550 大阪市西区南堀江2-5(丸新ビルA-102  
号) ㊟06・538・2225 \* 10～18 \* ㊟ \* 食品、リマ化粧品、  
書籍、器具  
自然食福園 ㊟530 大阪府北区梅田1-6-15 ㊟06・341・7798  
\* 売店9～20、食堂11～19半 \* ㊟祝 \* 自然食レストラン、  
自然食品販売  
吉川商店 ㊟561 豊中市小曾根1-8-23 ㊟06・334・0088 \* 7半  
～19 \* 2・4㊟ \* 料理、健康講習会(月2回)松岡四郎先  
生ほか  
株はらはら刀根山薬局 ㊟560 豊中市刀根山4-3-51 ㊟06・854・  
2541 \* 8～22 \* 元旦を除き年中無休 \* 代表取締役 上西  
義直  
堺自然食品センター「康園」㊟590 堺市竜神橋町1-2-6(南海本線  
駅前) ㊟0722・32・3357 \* 8～20 \* ㊟ \* 料理教室、健康相  
談、漢方薬局、振替 大阪304407  
山本祥園(ソフィー) ㊟573 枚方市高田2-2-2 P.U.学園 ㊟0720  
・53・2200 \* 福園、水・金曜。健康相談、マクロビオティク  
料理教室、P.U.勉強会、出張講師、食品、G.O書籍販売  
ABC関西地区正食品愛好協会 ㊟572 寝屋川市三井ヶ丘4-13  
㊟0720・22・4555 \* 9～19 \* 関西一円に宅配(無料)整体指  
圧と正食料理教室  
岸和田自然食品センター ㊟596 大阪府岸和田市南町12-1 ㊟0724  
・33・2666 \* 9半～18半 \* ㊟祝 \* 配達あり  
自然食品むぎの家 ㊟532 大阪市淀川区十八条2-1-3 ㊟06・393  
・4577 \* 8～15 \* 無双原理の研究会、健康指導、無農薬野  
菜、マクロビオティック食品、ヨーガ教室

<近畿>

田辺自然食センター ㊟646 和歌山県田辺市下屋敷町90-84 ㊟  
0739・22・7731 \* 10～18 \* ㊟ \* 配達あり  
南紀自然食品センターシャロン勝浦本店 ㊟649-53 和歌山県那  
智勝浦町朝日2-239 ㊟07355・2・1107 \* 正食料理教室、ヨーガ  
教室、足心道教室㊟、南紀正食会本部、自然医学会南紀支部

自然食品センター船橋駅前店 ☎273 船橋市本町5-1-8 ☎0474-25-0350 \*10~19 \*無休 \*健康・美容相談(特にヨガ、催眠の臨床、経験豊富)

### <東京23区>

オーサワジャパン ☎151 渋谷区大山町11-5インターマック1階 ☎03-465-5021 \*10~18 \*㊦ \*都内配達、国内発送(小田急線東北沢1分半)

樹自然食品センター本店 ☎150 渋谷区神南1-10-6 ☎03-496-7103 \*10~19平日、10~18㊦祝 \*3㊦ \*レストラン「天味」併設、食品、器具、化粧品、図書、小売、卸、料理教室〔営業所〕横浜市緑区美しが丘5-13-18 ☎045-901-5111 \*㊦祝

不二自然食品 ☎106 港区麻布十番2-21-4 ☎03-451-8966 \*9半~19 \*㊦ \*食養相談、料理講習、隣接区内配達(一の橋交差点バス停前)

樹ゲダツ商事 ☎160 新宿区荒木町4 ☎03-357-1161 \*代表取締役 岡野武徳、一般食品、健康食品、正食法の図書販売  
サンライト自然食品センター尾山台店 ☎158 世田谷区等々力2-5-1 ☎03-704-8324 \*9~18 \*㊦祝 \*玄米弁当、お惣菜調理パンの専門店

富士見台自然食品店 ☎176 練馬区貫井3-14-16 ☎03-990-6773 \*9~19 \*代表 酒井三恵子、自然農法食品、野菜、化粧品、図書、鍼灸治療院併設

高砂自然食品センター ☎125 葛飾区高砂8-13-5 ☎03-600-1412 \*9~19 \*㊦ \*料理講習・美容相談、マルチレーターによる健康相談(無料)

樹そうけん健康食品センター ☎121 足立区東伊興町33-22 ☎03-853-1724 \*9~19半 \*㊦ \*月一回料理教室、食養相談

友永ヨガ健康教室 ☎167 杉並区荻窪5-25-1山岸ビル ☎03-393-5481 \*9~20 \*㊦祝 \*友永淳子、ヨガ教室、健康教室、講習会など

グルッペ ☎167 杉並区荻窪5-27-15 ☎03-398-7427 \*10~19 \*㊦ \*無農薬・有機農産物、自然食糧品、化粧品他

かがらや ☎165 中野区若宮1-24-10 ☎03-337-2241 \*10半~18半 \*㊦ \*自然食品・無農薬野菜・リマ化粧品販売、配達、地方発送

健康自然食品店ミナ ☎165 中野区新井5-20-21 ☎03-385-6058 \*8~22 \*㊦ \*「健康は正しい食生活から」、無農薬野菜、書籍、配達。リマ化粧品

根津の谷(ネズノヤ) \*113 文京区根津1-1-14 ☎03-823-0031 \*11~21 \*2㊦ \*健康食品、自然食品、野菜

健康センター・心身改造ドック 真澄舎 ☎161 新宿区下落合3-15-20 大和田ビル901号 ☎03-950-5219 \*10~19 \*㊦㊦祝 \*心身改造ドック、CI図書・純正食品販売など。

自然食品の店ななくさ ☎177 練馬区大泉町1953 ☎03-925-0914 \*10~20 \*第2・4㊦ \*無農薬野菜、トーフ、書籍、洗剤、自然食品500種類以上

自然食品の店 ふる里や ☎135 江東区白河4-3-7 ☎03-643-5247 \*9~19 \*㊦ \*食養相談、自然良能誘起法東京連絡所、小川みち先生料理講習

むぎの友 ☎151 渋谷区笹塚1-12-15 ☎03-485-0701 \*11~18 \*㊦ \*都内配達

### <東京都下>

自然食品センター みずほ ☎182 調布市国領町7-1-17 ☎0424-88-8540 \*食品全般、化粧品、洗剤、無農薬野菜 \*9~20 \*第1、3㊦

樹むさしの自然食品 ☎180 武蔵野市中町1-23-17 ☎0422-51-2958 \*10~19 \*㊦ \*代表取締役 高岡敏行、正食品、本、野菜、料理教室(第2・4土曜、13~16)

はじめ健康食品店 ☎180 武蔵野市中町1-29-5 ☎0422-54-7716 \*8半~20 \*無 \*食品全般、化粧品・洗剤、書籍

東京シード南支店 ☎184 小金井市本町6-5 シャトー小金井1階 ☎0423-84-4600 \*10~18 \*㊦ \*食品・書籍・器具販売、美容・健康相談

自然食品の店 和康 ☎184 小金井市本町3-10-13 ☎0423-85-5261 \*10~18 \*㊦㊦ \*自然食品・書籍販売、健康相談、料理教室、玄米試食会

健康サロン ☎190-11 東京都西多摩郡羽村町富士見平2-1-3 羽村ハイツ ☎0425-55-2278 \*10~17 \*㊦祝 \*食品、洗剤、書籍、化粧品、器具販売、健康相談、配達承ります。

いなば酒店 ☎100-01 東京都大島元町2-1-10 ☎04992-2-1221 \*8~20 \*㊦

自然食品センター上水店 ☎190 立川市柏町4-5-14 ☎0425-37-3051 \*9半~18 \*なし \*自家栽培の無農薬野菜販売

兄弟社(自然食糧供給センター) ☎182 調布市西つづじヶ丘1-39-10 ☎0424-85-1309 \*10~18 \*㊦ \*無農薬野菜、自然食糧品、書籍、農山林用具

美山園茶舗 ☎199 八王子市長沼町58-204-6 ☎0426-35-9643 \*お茶、海苔の専門店

自然食品センター中神店 ☎196 昭島市中神町1113 ☎0425-44-2159 \*10~20 \*無 \*玄米運動、雑穀普及、無農薬野菜

(有)マナ自然食品センター ☎196 昭島市昭和町5-5-5 ☎0425-4-8866 (夜41-6068) \*10~19 \*㊦ \*健康食品・自然食品・電子治療器総合専門店、毎月最終木曜、料理教室、配達

### <神奈川>

自然食品センター弘明寺店 ☎233 横浜市南区中島町4-81 ☎045-712-3339 \*9半~19 \*渋谷自然食品センター姉妹店

菊屋百貨店・健康自然食品センター ☎244 横浜市戸塚区戸塚町44 ☎045-881-7636 \*9半~19 \*田中久夫、毎月1回料理教室・健康相談会、リマ、オリーブマノン化粧品取扱

サンエイ相模自然食品 ☎228 相模原市旭町9-16 ☎0427-46-6314、45-7401 \*9~20 \*㊦ \*毎月1回食品研究会

加藤大季(ひろき) ☎220-01 神奈川県津久井町三井735 ☎0427-84-3163 グリーンクラブ主宰、自給農法の研究、自給農園あり。玄米人生の悩み、よろこび、共に語りあおう。(来訪の際要TEL)

陰陽洞 ☎249 神奈川県逗子市逗子5-3-28 ☎0468-73-7137 \*10~19 \*㊦ \*無農薬野菜、無添加豆腐、自然食品、リマ化粧品、食養相談、配達あり。

薬々堂 ☎250 神奈川県小田原市堀ノ内 ☎0465-36-6258 \*10~18 \*㊦㊦ \*正食と東洋医学による、薬とメスを使わない治療院(望予約) \*自然食品、GO書籍、リマ化粧品

ヘルスロード自然食センター ☎242 大和市中央6-3-22大和警察署ウラ ☎0462-62-0020 \*10~19 \*㊦(第4日曜12~17まで営業) \*自然食品、健康食品、リマ化粧品、オーサワジャパン食品、日本CI協会図書、グループ配達

(有)豆彦商店 ☎横浜市磯子区田中町4-1 ☎045-774-0750 \*9~17 \*㊦ \*無添加豆腐・油揚げ製造、無農薬大豆持込み歓迎、市内配達

藤屋健康堂 ☎240-01 三浦郡葉山町堀内384 ☎0468-75-0152 \*9~18 \*㊦ \*神奈川県下配達・発送

万騎ヶ原自然食センター(季香園) ☎241 横浜市旭区柏町35-5(南万騎ヶ原) ☎045-363-6876 \*10~20 \*自然食品、健康食品、無農薬米・化粧品、洗剤、書籍。配達、地方発送可。

### <長野>

酒井須三子 ☎380 長野市上松1-5-35 ☎0262-34-3824 \*リマ化粧品取扱、正食品販売、長野無農薬野菜の会

長野正食センター(小児マヒ研究所) ☎380 長野市三輪6-9-17 ☎0262-34-5349 \*7~19 \*無休を原則

\*年刊「ポリオ」発行、小児マヒの方募集

南佐久CIくらぶ ☎384-14 長野県南佐久郡川上村大深山673 ☎02679-7-2709 \*正食研究会

もりいずみ ☎385 長野県佐久市岩村田本町762 ☎02676-7-3730 \*9半~19 \*㊦ \*自然食品、野菜小売・近隣市町村配達可

### <新潟・富山・福井>

新津自然食品センター ☎956 新潟県新津市本町2-17-5 ☎02502-4-5810 \*10~19 第2・3・4㊦祝 \*食養料理教室 毎月第3㊦9~14時 \*小川みち講師、食養相談、食品、日本CI

図書・テープ

# 全国日本C I 協会友の店

■この欄に掲載を希望の方は、別ページの入会申込書（法人会員）に記入して、お申し込みください。4行以上になる場合は、1行につき7,000円増しになります。★（\*）印の数は法人会員申込口数です。

■内容は、太字が名称、次が郵便番号、住所、電話、営業時間（8～18は、午前8時から午後6時のこと。19半は7時30分のこと、次は休日（㊤は毎日曜日、3㊤は第3水曜日、祝は祝日休み、無は年中無休）、その次は代表者及び備考です。

## ＜北海道＞

- 自然・健康食品のデパートサンケン ㊤064 札幌市中央区南18条西7-3(第5コーポ) ㊤011・512・4636 \*9～19 \*㊤祝 \*玄米試食会、健康相談、指圧、卸小売配達、料理講習会  
北海道健康学苑 ㊤078-02 旭川市永山町11-52-6 ㊤0166・48・4107 \*8～20 \*㊤㊤ \*食養相談、足心道指導、食品・書籍小売  
道南C Iくらぶ ㊤040 函館市若松町20-9 ㊤0138・22・8714 \*代表・山崎寿生  
南ウリ薬局 ㊤073-01 砂川市西1条北1丁目9 ㊤01255・2・4386 \*8半～19半 \*㊤㊤ \*漢方調剤

## ＜東北地方＞

- ラッキーフード ㊤020-01 岩手県岩手郡滝沢村穴口436-4 ㊤01968・4・3420 \*特に定めず 海の学校、山の学校、食品雑穀、農産物通信販売、予約販売、料理研究会  
北上正食センター ㊤024 岩手県北上市新穀町1-3-5 ㊤01976・4・7048 \*無 \*堀込幸雄、食品、図書販売、出張講演に必ず試食会（無料）  
みちのく自然食品センター ㊤980 仙台市中央3-10-7 ㊤0222・62・7677 \*9～19 \*1～3㊤㊤ 料理講習（講師小川みち他）食養相談（第1・3㊤、第2・4㊤）、玄米弁当（予約）  
東北文化協会 ㊤020-01 岩手県盛岡市上堂1-19-32 ㊤0196・46・1937 \*特に定めず \*自然食品、雑穀販売、健康相談、自然農法研究、郷土研究、機関誌『エミシ』『櫻』発行、食養懇談会  
実穂自然食品 ㊤027 岩手県宮古市新町4-28 ㊤01963・3・6310 \*9～19 \*1・3㊤㊤ \*定例学習会、料理教室  
十和田正食普及会 ㊤034 青森県十和田市穂並町2-56 ㊤01762・2・7840 \*9～18  
自然食品の店マナ ㊤020-01 盛岡市高松1-15-31 ㊤0196・62・6205 \*18～20 \*㊤㊤ \*料理講習（3㊤）、自然食品 500余種、図書、有機野菜、有精卵、配達巡回販売、会報発行

## ＜群馬＞

- 群馬マクロビオティックセンター ㊤370 高崎市和田町7-13 ㊤0273・22・5484, 25・5560 \*9～19 \*無 \*図書、食品販売月例無双原理と正食の勉強会・健康相談  
高崎自然食品センター ㊤370 高崎市新町101 ㊤0273・25・2605 \*9～19 \*無 \*食品販売、正食、空手、ヨガ講習会、健康指導  
鈴木述子（のぶこ） ㊤370-12 高崎市山名町乙611 ㊤0273・46・4921 \*自然農法の玄米・野菜、農産物加工、料理教室、群馬県安全農法研究会、群馬食養友の会  
七膚会 ㊤370 高崎市小塩町越越35-1 ㊤0273・43・8181 \*田中ふじ枝、第2・4㊤㊤ 1～3時＝料理教室、第3㊤㊤ 1～4時＝㊤㊤勉強会（テキスト、桜沢・大森）㊤㊤研究発表会、毎㊤㊤10～4時＝健康相談会、食品・書籍  
里味（さとみ） ㊤370 高崎市京目町1123-2 ㊤0273・53・0710 \*10～19 \*㊤㊤祝 \*マクロビオティック・フーズ販売、玄米パン・各種黒焼・参泉製造、自然農園あり  
井上自然食品センター ㊤371 前橋市本町1-12-13 ㊤0272・24・1818㊤ \*8～19半 \*㊤㊤ \*自然食講習、美容講習、食事相談人生相談  
須藤酒店 ㊤376 桐生市東久方町2-6-21 ㊤0277・44・5733 \*7半～20半 \*㊤㊤ \*自然酒、オーサワジャパンの食品、日本C I 協会の書籍販売

壮美研究所 ㊤376 桐生市広沢町2-3085 ㊤0277・54・1175 \*9～17半 \*㊤㊤祝 \*ヨガ教室、自然食講習、美容講習、純植物性化粧品取扱

自然食品センターあおぞら ㊤376-01 群馬県山田郡大間々町大間々390-11 ㊤0277・2・3241 \*電話注文にて配達（電話は18時～翌朝10時）

## ＜茨城・埼玉＞

- 内田繁商店自然食品部 ㊤300-12 茨城県牛久町牛久3475 \*02987・2・0135 \*9～19 \*㊤㊤ \*食品、書籍、器具  
小川自然食品店 ㊤362 上尾市上町2-7-25 ㊤0487・74・8504 \*9半～18半 \*無(臨時休業) \*純正食品オーサワジャパン取扱、有機農産物、健康相談、毎月料理講習会（C I より講師派遣）、リマ化粧品美容講習会、健康医学社指導講習（浄血指導）  
桜井商店（埼玉東部ブロック） ㊤343 越谷市大沢4-10-5 ㊤0489・62・3479 \*8～21 \*無 \*オーサワジャパン食品、書籍  
太田屋本店自然食品部 ㊤346 久喜市南1-8-18 ㊤0480・21・0102 \*9～19 \*㊤㊤ \*食養相談、健康指導、食品、図書販売、リマ化粧品、玄米試食会、C I 定期講習会  
けいらく操法普及会 ㊤336 浦和市常盤9-32-21 ㊤0488・31・7819 \*千田米子、正食とけいらく健康法、於熱海長寿会館（随時）予約制  
自然健康食品三好屋 ㊤336 浦和市北浦和1-19-4 ㊤0488・86・7234 \*9～20 \*㊤㊤ \*食品、書籍、器具販売、美容、健康相談。配達・配送承ります。  
大橋自然食品センター ㊤350 川越市霞ヶ関北5-12-8 ㊤0492・32・9445 \*9～19 \*㊤㊤ \*無農薬野菜、食品、図書、化粧品、玄米試食会、料理講習  
「玄米の宿」グループチェーン大宮店 ㊤330 大宮市土呂町2-72-13 ㊤0486・66・5809 \*9～19 \*㊤㊤ \*健康食品、無農薬野菜、食養相談、書籍、配達・発送いたします。  
「正直村」 ㊤364 北本市本町3-165 ㊤0485・92・2007 \*9～18 \*昭和六年豆腐、斉藤さんの納豆、アゲ、地粉パン、天然醸造味噌醤油など純正加工食品・有機農法野菜卸、巡回販売車有り。

## ＜栃木＞

晴雨農場（テリフリ） ㊤349-13 栃木県下都賀郡藤岡町大前1751 ㊤0282・62・2635 \*無農薬野菜、穀物類。自給自足の基盤に立っての衣・食・住の追求と実践。来訪の際、要連絡

## ＜千葉＞

- 習志野健康食品おおくぼ京愛堂 ㊤275 習志野市本大久保5-3-24 ㊤0474・73・2957 \*10半～19平日、13～19㊤㊤祝 \*㊤㊤ \*食品販売、食事相談  
市川平和堂 ㊤272 市川市真間3-11-12 ㊤0473・22・0810 \*10～19 \*㊤㊤ \*無農薬野菜・果物、料理講習、勉強会、配達及び地方発送  
溝口醤油 ㊤299-22 千葉県君津郡袖ヶ浦横田989 ㊤0438・75・2003 \*天然醸造醤油「金明」製造、オーサワジャパン取扱  
自然食品センター千葉駅前店 ㊤280 千葉市弁天町580 プラザ1 F ㊤0472・56・0888 \*10～19 \*無休 \*健康・美容相談、小川みち先生料理教室（第1・3水曜、11～14時、会費1回1500円）

## ■編集後記

●4月号に続いて、各地の考古館、博物館の紹介。  
国立民族学博物館(吹田)季刊『民族学』発行(☎06・877・8893)

- 石川県立郷土資料館(☎0762・62・3236)
- 福井県立郷土歴史館(☎0776・35・2845)
- 尖石考古館(茅野)(☎02667・2・2781)
- 井戸尻考古館(長野県富士見町)(☎02666・4・2044)
- 上田市立博物館(☎02682・2・1274)
- 磐田市立郷土館(☎05383・2・4511)
- 静岡市立登呂博物館(☎0542・85・0476)
- 浜松市立郷土博物館(☎0534・53・3872)
- 三重県立博物館(☎0592・28・2283)
- 大阪市立博物館(☎06・941・7177)
- 尾上公民館(湖北町)(☎0749・9・0407)
- 奈良県立考古博物館(☎0744・25・1918)
- 倉吉市立倉吉博物館(☎08582・2・4409)
- 風土記の丘資料館(松江)(☎0852・23・2485)
- 岡山県立博物館(☎0862・72・1148)
- 津山市郷土館(☎08682・2・4567)
- 倉敷考古館(☎0864・22・1542)
- 県立山口博物館(☎08392・2・0294)
- 瀬戸内海歴史民俗資料館(高松)(☎0878・82・2603)
- 徳島県立博物館(☎0886・22・9011)
- 北九州市立歴史博物館(☎093・571・4466)
- 宮崎県立博物館(☎0985・24・2071)
- 熊本市立熊本博物館(☎0963・52・5879)
- 沖縄県立博物館(☎0988・32・2243)

## ●GO式教育法

4月25日に日本C.I.協会本部で行なわれた桜沢如一先生15周年記念祭で、四国の松山から来られた菅本フジ子先生(P.U.ネーム、エリー)が、桜沢先生に叱られた話を紹介された。

はじめ、インドへ行き、次、ヨーロッパへ渡って奮闘していたが、ある日、「エリーを追放する」と手紙が来た。何を叱られているのか分からない。いっしょにやっていた高浪氏(現在、ブラッセルで豆腐店を経営)や、吉見クリム氏などに相談したら、どうも、アパートの流しをつまらせた責任らしい、という。なんとか取りなしてもらったが、要するに、「お前一人が使っていて、つまらせたのでなくても、つまつたのは、たしかに、つまつたのだから、その責任はお前にある。世界中のことは、全てお前に責任があるのだ」という。

「私のせいではありません」私だけじゃありません」といふ言い訳は一切、許されない。これが「ノー・エクスキューズ」(弁解せず)というGO式教育法だ。同様のことは、本誌48号にのっている山口卓三先生のお話の中でも紹介されている。山口夫人の久子さん(ダービン)が、MIの台所をやっていた時、ぬかみその板がなしに、石がじかに乗せてあった。GO先生は、それをしたのが誰かは問わず、責任者のダービンに、ぬかみそを雨あられと投げつけて怒った、という。

実際の落ち度が誰にあるか、ではない。落ち度があるのに気づかなかつた責任者の怠慢を問うている

のだ。弁解は許されない。

「ノー・エクスキューズ」とは、このことだ。ところが、最近、「ノー・エクスキューズ」とは、自分が悪くても、一切、あやまらないことだと説いている「先生」がいる。GO精神のスリカエもはなはだしい。

●桜沢先生のMI時代の教育として聞いているのは、『世界政府』新聞を駅内・電車内で売ることや、悪口コンクールだ。前者は、どう自分を表現して、初めて会う他人と話を通じさせるか、という訓練で、後者は、自分に対する自己評価と、他人のいろいろな評価の違いに気づかせることと、他人を表現する訓練ではないかと思う。これは仮説だが、自己評価と、他人の客観的な評価との差があまりないのが常識人で、それが甚しいのがゴーマン病または極陰性人ではないか。

●小川みち先生は、5月22日、渡米し、GOMFのヘルマン相原夫妻と全米講演ツアーの旅に立たれました。7月24日〜8月2日、カリフォルニア州タホ国営森林フレンチメドウで開かれる恒例の夏季キャンプにも参加されます。お元気で！ ●本誌を編集して満十年、90冊。求、新編集長！(橋本政憲)

新しき世界へ 五二五号

◎一九八一年 六月号

発行日 昭和五十六年六月一日

編集兼発行人 橋本政憲

発行所 日本C.I.協会 〒二五一

東京都渋谷区大山町二一五

電話 03-4691-7631(代)

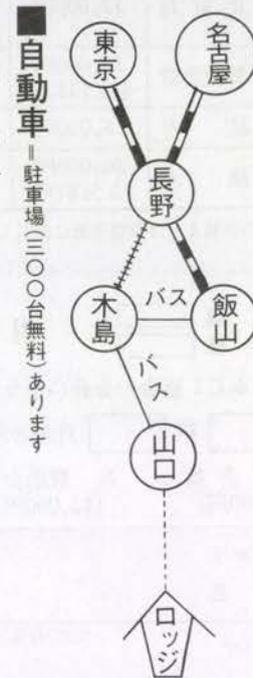
振替 東京011941225



## 現地への交通

上野から約5時間、国設木島平スキー場、  
牧の入ゲレンデ、第4リフト前

自動車 | 駐車場(三〇〇台無料)あります  
名古屋 ↓ 19号  
東京 ↓ 17・18号  
↓ 長野 ↓ 飯山 ↓ 木島平



鉄道 | 山口または木島まで車で送迎します

## 講師紹介

**武者宗一郎** 分析化学の権威。大阪府立大学名誉教授、日本食用塩研究会会長。主著に『分析化学辞典』『原子吸光分析』『見えざる恐怖-食品汚染』などがある。

**大森英桜** G.O.の著書に出会い、“病気の問屋”から脱出、無双原理と正食医学探究30余年。今回の講義《現代病からの解放》シリーズは、なぜ病気になるのか、諸病の原因と症状の解明、その食養的療法、病気にならない生活法（特に食を中心に）を説く。

**大森一慧** 大森英桜夫人。玄米児6人の母。日本C1〈マクロビオティック座談会〉講師。今回の健康学園の料理主任、子供向けのお話の講師。

日	7月31日(金)	8月1日(土)	8月2日(日)	8月3日(月)
5				
6		そうじ・体操・うた	そうじ・体操・うた	そうじ・体操・うた
7		講義① 武者宗一郎 《生活を化学で観る》	講義④ 大森英桜 《現代病からの解放》(2) —血管・心臓病・脳卒中—	講義⑥ 大森英桜 《現代病からの解放》(4) —精神病・先天性異常・無気力—
8				
9			朝 食	講義⑦ 大森英桜 《人間の幸福》
10				閉会式
11		高 社 山 登 山 (子供は別にピクニック)	自 由 時 間	朝 食
12			ハイキング 健康相談：大森英桜 座談会：大森一慧	解 散
1				
2				
3	受 付			
4		レクリエーション 社 交 ダ ンス	レクリエーション 盆おどりパーティー	
5	開 会 式			
6	夕 食	夕 食	夕 食	
7				
8	講義① 武者宗一郎 《宇宙と生命》 —その発生と消滅—	講義③ 大森英桜 《現代病からの解放》(1) —肝・腎・糖尿病—	講義⑤ 大森英桜 《現代病からの解放》(3) —ガ ン—	
9				
10				
11				

# 月刊『新しき世界へ』購読案内

種別	年会費	特 徴
A 正会員	12,000円	月刊機関誌(年間11回発行)1部送呈。会員証、会員バッジ。各種行事割引。料理教室、無農薬玄米配布のカムカムクラブ入会可。各種相談を受けられる。日本C I発行の図書・テープ5%引き(図書券で)
B 賛助会員	12,000円を2口以上	機関誌毎月2部送呈。その他は正会員に同じ。日本C I発行の図書・テープ10%引き(図書券で)
C 誌友	5,000円	月刊機関誌1部送呈。料理教室、無農薬玄米配布のカムカムクラブ入会可。
D 法人	30,000円(2分割可)	③に同じ、本誌巻末に毎月、店名・住所・電話・営業時間・申し込み口数・その他を広告。「新しき世界へ」5部配布 日本C I友の店シール配布

●下記の用紙または振替用紙に記入し、会費を添えて、〒151 東京都渋谷区大山町11-5 日本C I協会会員係 にご送付ください。

・新規   
 ・継続

## 財団 日本C I協会 入会申込書 (楷書で書いてください。)

私は日本C I協会の会員になりたく、次の通り申し込みます。(会員別の符号を○でかこんでください。)

年  月号から  年間分

A. 正会員 (12,000円)    B. 賛助会員 (12,000円を  口)    C. 誌友 (5,000円)    D. 法人(店舗) (30,000円を  口。2分割可)

フリガナ 氏名	職業 ( ) 男・女	生年月日 <small>明大昭</small> 年 月 日生
住 (〒 ) 所	(〇〇号室)(〇〇様方)と詳しく。 TEL	
ご家族	① 独身 ② 既婚 (家族名・構成内容)	
玄米歴	備考	

■いったん納入された会費、誌代は、返却できません。

昭和 年 月 日付

## 日本C I協会

日本C I協会は、桜沢如一が創立した、マクロビオティック運動の国際センターで、研究・教育・普及活動を展開している非営利団体です。会長、桜沢里真。

活動内容は、

① 実用弁証法(無双原理)と正食法の研究・実践・普及。

② 桜沢如一ほか、右の内容に関連した図書・出版物の刊行。

③ 講演会・講習会・研究会・正食料理教室・正食医学研修講座・海山スキーなどの健康学園、特訓セミナー・海外研修旅行の開催。

④ 正食医学による食事健康相談会の開催。

⑤ 出張講習・講演会などの幹旋。

⑥ 日本C I協会の事業部としてオーサワジャパン株式会社があり、純正食品・無農薬農産物・料理器具・自然化粧品などの普及販売。

⑦ 関連活動団体、各地センター、事業組織などが多数活躍中。

⑧ 欧米はじめ全世界に関連団体多数活動中。

日本CI協会主催 '81マクロビオティック夏の健康学園

# 信州サマー・キャンプ

## 正食医学講座ハイライト集

日時/1981年7月31日～8月3日(3泊4日)

会場/ロッヂ「なべふ」長野県下高井郡木島平村上木島3278-2(牧の入ゲレンデ)

☎02698-2-2815

参加費/大人〔中学生以上〕=24,000円 子供=16,000円 幼児=8,000円 部分参加=1泊2日9,000円(ただし、人数に余裕があるときのみ)

おさまの参加について/講義中は係がお世話したり、大森一慧先生の《食べ物のお話》を聞いたりしますが、講義と食事以外の時間は、お連れの方がお世話をお願いします。

持参品/食器(ごはん茶わん、汁わん、中皿、はし、

ふきん)、筆記具、洗面具、ぞうきん、運動靴またはキャラバン・シューズ、水筒、雨具、笠またはぼうし

申込方法/申込書に記入の上、参加費を現金書留で郵送するか直接持参してください。7月24日までの取消しは手数料2,000円を、25日以降の取消しは会の運営上、半額を差引いての返還となりますので、あらかじめご了承ください。

申込締切/7月24日(金) ただし、定員になり次第、締切りますのでお早目にどうぞ。

申込先/日本CI協会 〒151 東京都渋谷区大山町11-5 ☎03-469-7631

### '81信州サマー・キャンプ(7/31~8/3)申込書

No. \_\_\_\_\_

1 大人 24,000円×( )名  2 子供 16,000円×( )名  3 幼児 8,000円×( )名  
(中学生以上) (4歳以上) (3歳以下)

ふりがな		歳(男・女)		部分参加1泊2日 9,000円	
氏名	自宅 TEL		7月31日～8月1日 ( )名		8月1日～8月2日 ( )名
			8月2日～8月3日 ( )名		
住(〒 ) 所	都道府県	郡市	同行者		
			氏名	年齢・性別	
					歳(男・女)
					歳(男・女)
勤務先	勤務先 TEL				歳(男・女)

合計 \_\_\_\_\_ 円を添えて申し込めます。

日本CI協会御中 1981年 月 日

大森英桜先生の健康相談  
 申込(有・無)有料、予約制

# '81夏のPU大学セミナー《8/20～8/23》申込書

No. \_\_\_\_\_

1 大人(中学生以上) 22,000円× ( ) 名
  2 部分参加 1泊2日 8,000円

ふりがな		歳(男・女)	8月20日～8月21日 ( ) 名	
氏名		自宅 TEL	8月21日～8月22日 ( ) 名	
			8月22日～8月23日 ( ) 名	
住所 (〒 - )	都道府県	郡市	同行者	
			氏名	年齢・性別
			歳(男・女)	
			歳(男・女)	
勤務先	勤務先 TEL		歳(男・女)	
合計 _____ 円を添えて申し込みます。			(通信欄)	
日本CI協会御中			1981年 月 日	

日 時	8月20日(木)	8月21日(金)	8月22日(土)	8月23日(日)
5				
6		そうじ・体操・うた	そうじ・体操・うた	そうじ・体操・うた
7		講義② 佐々井 譲 《料理のメカニズム》	講義⑤ 太田 竜 《何を指すか》 —私の理想とする社会—	講義⑨ 横田稲吉 《本草解説》(1) —穀物・野菜・海草・野草—
8				
9		川崎伊津《実習指圧》	川崎伊津《灸》実習	講義⑩ 横田稲吉 《本草解説》(2) —野草・薬草などの特徴・用途—
10				閉会式
11		朝 食	朝 食	朝 食
12				
1		藤田紀代美《民謡おどり》(1)	藤田紀代美《民謡おどり》(2)	解 散
2				
3	受 付	講義③ 坂本二三久 《自然農法》(1) —野外説明・実習—	講義⑥ 坂本二三久 《自然農法》(2) —野外説明・実習—	
4				
5	開会式			
6	夕 食	夕 食	夕 食	
7				
8	講義① 佐々井 譲 《人間のコトバ》	講義④ 太田 竜 《安藤昌益の思想》	講義⑦ 高祖英二 《古代インド医学の食》	
9			講義⑧ 橋本政憲 《日本人とは何か》	
10				
11				

# '81夏のPU大学セミナー

— 簡素な食事(5号食)、自然農法の実習、豊富な講義 —

## 講師紹介

**佐々井 謙** 日本正食品研究所を経営、かつて桜沢先生の指導で原子転換研究に従事していた。

**太田 竜** 『いのちの革命』『革命理論の革命』『日本原住民史』『何から始めるべきか』など多数の著書がある。

**横田 稲吉** 植物の研究家。著書に『飯能の自然』『天然記念物緊急調査』『埼玉県植物誌』(共著)などがある。

**坂本 二三久** 自然農法30年。世界救世教自然農法指導員。

**川崎 伊津** 鍼灸師。戦前から無双原理を学ぶ。

**藤田 紀代美** 演劇集団「日本」所属、俳優3年生。

**橋本 政憲** 日本C I協会編集長。 **高祖 英二** 日本C I協会情報資料部

日時/1981年8月20日～8月23日(3泊4日)

会場/那須自然農法研究所 栃木県大田原市鹿畑914

☎02872-3-4531

参加費/全期参加=22,000円 部分参加=1泊2日  
8,000円

お子さまの参加について/小学生以下の方は、原則としてお断りします。

持参品/食器(ごはん茶わん、汁わん、中皿、はし、ふきん、お膳代用マット[ふきんなど])、筆記具、洗面具、ぞうきん、地下たびなど農作業用はきもの、笠またはぼうし

申込方法/申込書に記入の上、参加費を現金書留で郵送するか直接持参してください。8月13日までの

## 現地への交通

東北線西那須野駅下車(急行停車)、バス(黒羽行か雲巖寺行)に乗りかえて、八幡神社下車、農場まで車で送迎。上野駅から約3時間半。

取消しは手数料2000円を、14日以降の取消しは会の運営上、半額を差引いての返還となりますので、あらかじめご了承ください。

申込締切/8月13日(木) ただし、定員になり次第、締切りますのでお早めどうぞ。

申込先/日本C I協会 〒151 東京都渋谷区大山町  
11-5 ☎03-469-7631

## ● 正食医学講座のご案内 ●

●日時/昭和56年7月4日(土)  
1時受付開始、7月5日(日) 4  
時解散。1泊2日

●主催および会場/日本C I協  
会本部 〒151 東京都渋谷区大  
山町11-5 ☎03-469-7631(代)

●講師/大森英桜

●研修費/15,000円(外泊の場合)。  
C I 会館での宿泊は1000円  
増。

●持参品/食器(茶わん、汁わ  
ん、中皿、はし、布巾2枚)、学  
習用具、洗面用具、雑巾

●申込方法/申込書に記入し、  
研修費を添えて日本C I 協会あ  
て現金書留で送るか直接持参す  
る。日本C I 協会の会員でない  
方はご入会ください。

(誌友年購読費 5,000円より)

●締切り/7月1日着。

●取消し/7月1日までの取消  
しは手数料2000円をひいて返還  
します。それ以後の場合は会の  
運営上、半額返還となります。

\*食事は日本C I 協会の料理部  
が調理する玄米正食料理です。

\*人数に余裕があるときは、部  
分参加も受け付けますので、お  
問い合わせください。



## 講義の内容

1. 人体発生学と臓腑の陰陽
2. 五行説と気の経絡
3. 望診法(人相、手相)
4. 望診法(体、性格、便尿、  
その他)
5. ①自律神経とバイオリズム  
②病人の心理と心療法
6. 症状にみる陰陽判断の仕方

\*講義の録音はご遠慮ください

## スケジュール

## 7月4日(土)

- 1:00~1:30 受付、開会  
1:30~3:30 講義1  
4:00~6:00 講義2  
6:00~7:30 夕食  
7:30~9:30 講義3  
11:00 消灯、就寝

## 7月5日(日)

- 6:00~7:00 起床、清掃、体操、歌  
7:00~9:00 講義4  
9:30~11:30 講義5  
11:30~1:00 朝食  
1:00~1:30 写真、次回分受付  
1:30~3:30 講義6  
3:30~4:00 受講生交流茶話会

## 正食医学講座Ⅲ ( 7/4 ~ 7/5 ) 申込書

No. \_\_\_\_\_

1. C I 会館で宿泊=16,000円 2. 外泊します=15,000円 3. 部分参加 講義Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ

ふりがな	男・女	明大昭	( ) 歳	1. 正会員の家族です 会員番号( )	※部分参加の方は、講義番号を記入してください。 (定員に余裕ある時受け付けます。)
氏名		年 月 日 生		2. 誌友(の家族)です 3. C I の雑誌購読していません	
ふりがな	( )				
住所	都道府県				
自宅市外局番 電話( )	職業 勤務先		勤務先市外局番 電話( )		

円を添えて申込みます。

日本C I 協会御中 1981年 月 日

正食医学講座出席 回目

● 正食医学講座のご案内 ●

●日時／昭和56年6月13日(土)  
1時受付開始、6月14日(日) 4時解散。1泊2日

●主催および会場／日本C I 協会本部 〒151 東京都渋谷区大山町11-5 ☎03-469-7631(代)

●講師／大森英桜

●研修費／15,000円 (外泊の場合)。C I 会館での宿泊は1000円増。

●持参品／食器 (茶わん、汁わん、中皿、はし、布巾2枚)、学習用具、洗面用具、雑巾

●申込方法／申込書に記入し、研修費を添えて日本C I 協会あて現金書留で送るか直接持参する。日本C I 協会の会員でない方はご入金ください。  
(誌友年購読費 5,000円より)

●締切り／6月10日着。

●取消し／6月10日までの取消しは手数料2000円をひいて返還します。それ以後の場合は会の運営上、半額返還となります。  
\*食事は日本C I 協会の料理部が調理する玄米正食料理です。  
\*人数に余裕があるときは、部分参加も受け付けますので、お問い合わせください。



講義と実習の内容	スケジュール
1.動物性食品、果物、飲料の陰陽、効用、害 2.体質、年齢、性、労働、環境別食養法 3.食箋料理の作り方、用い方、効用 4.食物療法食品の作り方、用い方、効用 5.食物療法薬用品の作り方、用い方、効用 6.食の段階と病気の七段階  *講義の録音はご遠慮ください	<b>6月13日(土)</b> 1:00~1:30 受付、開会 1:30~3:30 講義1 4:00~6:00 講義2 6:00~7:30 夕食 7:30~9:30 講義3 11:00 消灯、就寝
	<b>6月14日(日)</b> 6:00~7:00 起床、清掃、体操、歌 7:00~9:00 講義4 9:30~11:30 講義5 11:30~1:00 朝食 1:00~1:30 写真、次回分受付 1:30~3:30 講義6 3:30~4:00 受講生交流茶話会

正食医学講座Ⅱ (6/13 ~ 6/14) 申込書 No. \_\_\_\_\_

1. C I 会館で宿泊=16,000円 2. 外泊します=15,000円 3. 部分参加 講義Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ

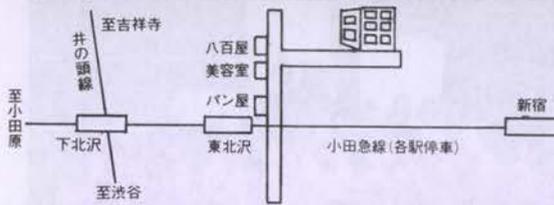
ふりがな	男 女	明 大 昭	( ) 歳	1. 正会員の家族です 会員番号 ( ) 2. 誌友 (の家族) です 3. C I の雑誌購読していません	※部分参加の方は、講義番号を記入してください。 (定員に余裕ある時受け付けます。)
住所	(〒 - )	都道	府県		
自宅市外局番	職業	勤務先		勤務先市外局番	
電話 ( )		勤務先		電話 ( )	

円を添えて申込みます。

日本C I 協会御中 1981年 月 日

正食医学講座出席 回目

# 日本CI協会 6~8月の行事予定 於 東京インターマック



■ 毎木曜日は休館です。(オーサワジャパンは営業)

## 日本CI協会

〒151 東京都渋谷区大山町11-5

☎ 03・469・7631 (代)

小田急線・東北沢駅下車2分

- 会員でなくても参加歓迎です
- 録音はご遠慮ください

7月7日(火)、8日(水)まで毎週火曜日(中級以上)、水曜日(初級) 食養料理教室 リマッキングアカデミー開催中、両日とも11時~2時、6時~8時半。一回だけ受講の場合は予約して下さい。

6月5日(金) 午後6時~8時 健康書道教室 6月、7月毎週金曜日、同時間。ただし、7月3日は休みです。合気呼吸法の運筆法。指導/書道春秋社師範・織田秋海 会費/1回 500円 練習用紙、下敷、筆、墨、硯、墨汁、文鎮など持参。7月24日まで。

6月7日(日) 11時~2時 正食医学による健康相談講習会(公開) 講師/大森英桜

正しい食べ物、正しい食べ方、正しい生活法による健康確立、体質、性格改善、病氣指導の公開講習会です。相談希望の方は必ず予約して下さい。当日は10時まで2階へ来て下さい。聴講はどなたでもできます。会費/相談する人(正会員以上)=10,000円 正会員聴講者=2000円、一般聴講者=2300円

3時~5時半 月例講演会「調理法、加工法の陰陽で食品はどう変わるか」講師/大森英桜、会費/正会員=1500円、誌友・一般=1800円

6月9日(火) 2時半~4時半 マクロビオティック座談会 講師/大森一慧 会費/1000円

6月12日(金) 午後6時~8時 健康書道教室%参照

6月13日(土)、14日(日) 正食医学講座Ⅱ(食物療法基礎編) 講師/大森英桜 詳細は別ページをご覧ください。

6月19日(金) 午後6時~8時 健康書道教室%参照

6月20日(金) 午後6時~8時 PU勉強会 だれでも参加歓迎。食養と無双原理、桜沢先生の思想を中心に、お互いに問題を出し合い、自由に話し合います。司会/宮越成 会費/300円 以降は、%

6月21日(日) 午後3時~5時 PU大学「草木染と手織りの半生を語る」一展示と染織の方法について一講師/小菅たけ子 会費/1000円

6月23日(火) 2時半~4時半 マクロビオティック座談会 講師/大森一慧 会費/1000円

6月26日(金) 1時~4時 ぐれない会(料理研修)「食養のお菓子の作り方」講師/松田晃旺 23日までに予約申し込みをすること。(ぐれない会会員のみ参加可。) 会費/2500円

午後6時~8時 健康書道教室 %の項参照。

6月27日(土) 1時~4時 手作りパン講習会 講師/横田和敏 申し込みは、オーサワジャパンへ。☎ 465・5021 会費/1000円(天然酵母1袋付)

午後6時~8時 PU勉強会 %の項参照。

6月28日(日) 1時~3時 ヨーロッパツアー参加者説明会

午後4時~6時 '80陽友会 食養の勉強会、交流の場。だれでも参加歓迎。会費100円。

7月4日(土)、5日(日) 正食医学講座Ⅲ(望診法など) 講師/大森英桜 詳細は別ページをご覧ください。

7月7日(火) 2時半~4時半 マクロビオティック座談会 講師/大森一慧 会費/1000円

7月10日(金) 午後6時~8時 健康書道教室%参照

7月11日(土) 1時~4時 正食医学による健康相談講習会(公開) 講師/大森英桜 %の項参照。

午後5時~7時半 月例講演会「夏の食養法」(子供、年長者、女性の食養についても含む) 講師/大森英桜 会費/正会員=1500円、誌友・一般=1800円

7月12日(日) 食養料理教室リマッキングアカデミー夏期修了試作会 昼の部12時持参、1時開会。夜の部 4時持参、5時開会。

7月17日(金) 午後6時~8時 健康書道教室%参照

7月19日(日) 3時~5時 PU大学講演会「既科学と未科学」——未来科学・技術の方向—— 講師/武者宗一郎(分析化学の権威、大阪府大名誉教授、日本食用塩研究会会長、主著に「分析化学辞典」、

「原子吸光分析」、「見えざる恐怖 食品汚染」などがある。)

7月24日(金) 午後6時~8時 健康書道教室 %参照 夏期最終回、秋は9月11日からです。

7月25日(土) 1時~4時 手作りパン講習会 講師/横田和敏 申し込みは、オーサワジャパンへ。☎ 465・5021 会費/1000円(天然酵母1袋付)

7月26日(日) 3時~5時 '80陽友会 食養の勉強会、交流の場。だれでも参加歓迎。会費/100円

7月31日(金)~8月3日 夏の健康学園 3泊4日、於長野県木島平。詳細は別紙をご覧ください。

8月20日(木)~23日(日) PU大学 夏のセミナー 3泊4日 那須自然農法研究所にて。詳細は別紙をご覧ください。

# オーサワジャパンからのお知らせ

カムカム鍋で材料の味が生きる！

オリジナル推薦商品



「ほんとうにおいしく炊けるので不思議です！」 武蔵野市 M.N.さん

## カムカム鍋を使った

### 油を使わない！コーフー料理法

これは、夏場などにあまり油分を欲しない人にお奨めします。グルテン粉に倍量の水を加えてよく練ります。粉に対して水の量が多めになっておりますので、粉を吸いきれないで水が残りますが、その水もいっしょにグルテンをカムカム鍋に入れ、外鍋に水を入れ、圧力をかけて煮ます。沸騰後、約45分でコクのあるおいしいコーフーができて上がります。

## 『カムカム便り』購読のお誘い

年4回発行 500円(送料含む。切手代用可)

## お中元セール

期間7月1日～7月15日

割引券をはじめ粗品等を用意いたしております

新製品

- 那須の里(太目) 400g 250円
  - " (細目) 400g 250円
- 那須高原の清涼な環境でつくられた風味豊かなうどんです。
- ねじりうどん 1kg 650円
- 手打ちと間違われるほどの腰の強さと一度たべたら忘れられない色のくろいうどんです。

値上げ  
(6月1日より)

- ゴマピューレ 250g 550円
- わかめ 100g 400円
- オーサワひじき 100g 400円
- 食養コーヒー 100g 350円
- きび団子粉 330g 300円
- きな粉 100g 150円
- オーサワクッキー 150g 230円
- 天然コーボ 453g 1,300円
- " 200g 600円

## 割引サービス変更について

毎度、当社の純正食品をご愛用いただき、ありがとうございます。

残念ながら、今年も原料代、加工費、流通費、その他の諸経費の上昇が見込まれ、それが小売り価格にはねかえる圧力が高まる様子があります。当社としては、値上げを最小限にとどめるため、できる限りの経営努力を行なうつもりでありますので、これまでと変らぬご愛顧をお願い申し上げます。

つきましては、割引サービスについて、6月1日より、次の通り改めさせていただきます。

\*毎月2日ほど実施しておりました《サービス・デー》は中止し、代わりに、料理教室、正食医学講座をはじめとした日本C1協会の行事に参加の方には、《割引券》(5%引き)を適宜発行いたします。したがって、今後は、《割引券》をお持ちくだされば、いつでも割引が受けられます。《割引券》は、都内配達、地方発送のご注文にも適用されます。

\*みそ、しょうゆ、めん類などのケース単位割引率を、従来の10%から5%に改めさせていただきます。なお、《割引券》をお持ちになれば、これとは別に、重ねて割引が受けられます。

肌にやさしい **リマ化粧品** 植物性

素肌に関心のある方に  
使っていただきたい。



リマ化粧品のポイント

- 基本の油に椿油
- 紅花色素から  
メイクアップ用品
- 昔ながらの  
へちま、きゅうりの  
化粧水



みずみずしさを 選ぶならリマ

## リマシリーズ

化粧水からメイクアップ用品まで発売しております。



● 全国の自然食品店・薬店・化粧品店・デパートでお求め下さい。

リマ化粧品販売株式会社

〒175 東京都板橋区成増2-35-14 TEL03-976-2525

リマ化粧品西日本販売株式会社

〒550 大阪市西区立売堀2-4-4 永瑞ビル2F TEL06-533-3081

(発売元) リマ化粧品株式会社

〒223 横浜市港北区日吉本町1862